(明治四十一年八月十日第三種郵便物認可)

大正五年四月十九日 THE KEIJO NIPPO 第三千九十二號 (一)

京城日報

十八日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢(郵送料共) 三ヶ月金壹圓四拾五錢 六ヶ月金貳圓八拾錢 一ヶ年金五圓五拾錢 ▲郵券代用二割増

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲特別一行金壹圓貳拾錢 ▲三號活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 塩口政太郎

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯部 三四一番 營業部 三五一番 工場 二六二番 振替貯金口座京城 三〇〇番

◎總督訓示

各道警務部長會議第七日の席上に於ける寺内總督の訓示左の如し

歐洲に於ける未曾有の大戰は何れの日に終熄す可きか未だ逆め料る可からず。歐亞の内觀亦益々其の範圍を擴大せんとする狀あるに拘はらず、朝鮮は依然治平の慶に浴し民衆共堵に安むじて業に就き産を治むるを得るは、皆聖昭の惠澤に倚る。是れ洵に半島住民の幸福にして本總督の各官と共に欣榮とする所なり。客秋始政五年記念物産共進會の開催あるや、特に皇族殿下の御臨場あり。且内外貴紳の來往頻繁を極めたるも、秋毫の支障を見ざりしは、警備上周到の注意を加へたるの結果に外ならず。又地方多數人民が該物産共進會を觀覽し有形上及び無形上多大の裨益を受くるに至りたるは各官指導の力に由る所多し。本總督は其の勞を諒とす。

而して既往五年有半に於ける施政の成績を觀るに、百度簇革し、秩序恢復し、暴徒草賊其跡を絶ち、民心殆ど靜穩に歸し、産業の發達亦頗る顯著なるものありと雖も、是れ唯創業の基礎漸く確立したるに過ぎず、將來の大成を念へば尚ほ望洋の感なくむば非ず。是を以て本年の劈頭に於て特に諭告を發し、決して從來の成績に滿足すべからざるのみならず、官民相共に益々戒心奮勵せざるべからざる所以を懇示せり。殊に故態舊習に執着して時世と共に推移し得ざる頑冥固陋の輩、往々無謀の言動を逞うする者あると共に日進の智識を修得せりと稱する青年子弟にして、動もすれば詭激の思想を懷きて、愚民を誑惑する者なきに非ず。斯の如きは朝鮮開發の大業を遂行するに於て、深甚なる障害たらずむば非ず。各官は此等の徒輩に對しては、宜しく懇切に事理を解説し、赤子撫育の聖旨を明かにして、其の迷想を覺醒し、彼等をして過を悟り、本に復らしむることに努む可し。時世の進運に伴ひ、民業の發展、事物の改善漸く觀るべきものあると同時に、動もすれば輕薄の氣風を醸生し、奢侈の弊習を馴致するは避く可からざる勢なりと雖、如今既に其の傾向の著しきものあるは、寔に憂慮に堪へざる所なり。斯の如き弊害は之れを萌芽の中に芟除するに非ざれば、其の流毒竟に救ふ可からざるに至らむとす。從來自營力行の精神を鼓吹し、又勤儉貯蓄を奬勵して一日も係きざる所以のものは、遊惰放逸の習習を一掃し、鮮民をして貧困の窮境を脱せしめむとするに外ならず。若し此の旨趣にして、民心に透徹し、普く實行せらるゝに至らば、奢侈浮華の弊風は遂に侵來するに由なからむとす。如何なる弊害と雖も、既發の後に防ぐは、之を未然に杜絶するの捷徑にして有效なるに若かず。奢侈浮華は固より何れの時に於ても之れを戒めざるべからず。苟も人心を浮靡浮薄に導くが如き事物は、其の出版物たると、遊戲演藝たるとに論なく、之が取締を勵行して、毫も假借す可からざるは勿論なり。然れども專ら消極的の方策に出でゝ、之を事後に矯正するは抑も末なり。故に先づ常時醇朴敦厚の美風を推奬し、且つ機會ある毎に勤儉貯蓄の要旨を懇諭し、人々をして服然として穩健質實の生活を樂ましむるに於ては、自ら正を以て邪を制するを得べく、澆風の矯正上、思半に過ぐるものあらむ。但だ茲に注意すべきは生活程度の改善を以て、驕奢の現象と混同す可からざること是なり。勤儉貯蓄を勸むるの本旨は、徒らに金錢を蓄積せしむるに非ざるは勿論なり。之に依りて資本を利殖し、不時の用に備ふると共に、益々稼業の發展に資し、身を立て家を興し、尚國益を裨補せしめむとするに在り。故に人民をして其自分資力に適應して、衣食住の改善を圖る者あらば、固より何等の妨なきのみならず、是寧ろ勤儉力行より生ずる報酬の一端として益々奮勉の心を激成するの動機たる可し。故に各官は宜く民情の機微を察し外形を以て其想を誤ることなく其指導上萬缺漏なからむことを期す可し。

今や一般施政の進捗に隨ひ、地方に於ける諸般の施設經營は、愈々繁劇錯綜に赴き、常に該職員の精勵奮勉に俟つ可きもの、益多きを加へむとす。殊に刻下朝鮮に於ける警務官憲は、一面に於て治安の維持上特別の努力を要すると同時に、他方に於ては一般の助長行政上、周到なる注意を懈るを容さず。是れを以て地方行政に於て其の道府郡の孰れに係るを問はず、之が實施に方りては、能く當該官憲と協心戮力して、必要なる援助斡旋に勗め、其の間斷じて意思の扞格なきを要す。斯の如くにして産業の奬勵と、民心の感化とに於て、始めて完全なる實効を擧ぐるを得べきなり。

凡そ助長行政上最も注意を要するは、百般の施設經營に關し、一般人民をして其の旨趣及び目的の存する所を周知せしむるより先なるはなし。若し其の旨趣を示さず、其の目的を明かにせざるに於ては、人民をして徒に躊躇する所に惑はしむるのみならず、到底堅實なる成績を收むるに由なからむとす。平生人民に接觸する警察官は先づ各般の施設經營に關し、法規手續等を詳悉し、其の計畫の方針と實行の方法とを明示し、人民をして其の適從する方向を會得せしめ、以て事業の進行を圓滑ならしむるを要す。而して農耕、漁撈、採鑛等の事業にして、警察官の斡旋に俟つもの尠からざるは勿論なるも、旱魃、水害の防遏上、最も必要なる山林の保護及び植樹の奬勵に至りては、殊に其の然るを見る。從來濫伐の弊習ある林野に對し、適當なる矯正の方法を講ずべきは、固より言を俟たず。造林植樹の計畫に付ても、亦當該官憲と協力して、其實行上遺憾なからしむることに注意すべし。

河川の整理は林政と相俟ち、水害を豫防すると共に、灌漑の便を開くに於て、必須缺くべからざる者とす。將來一定の方針を立て治水事業を實行するの時機あるべきも、先づ其の準備として、河川の現狀を維持し、之を毀損するの行爲を抑制するを以て、目下の急務とす。是れ曩きに河川取締規則を發布したる所以なるを以て、各官は該規則の旨趣に依り、適當の取締を爲すに於て遺算あるべからず。又不時の出水に際し、道路、堤防、橋梁等の保護及び應急作業は、其の部落民當然の義務なりと雖も、斯る場合に於ては、特に警察官の活動を要するが故に、迅速機宜の措置に俟つ處多しとす。水防の爲には消防組設置の地方に在りては、之を利用するも可なり。又其の設置なき地方に於ては、他の方法に依り、平生水防の準備を爲し、縱令全く災害を未然に防ぐ能はずとするも、及ぶ限り其程度を輕減するの策を講ずべし。

曩きに明治天皇、昭憲皇太后奉祀の御治定あり。尋て明治神宮造營の計畫決定せられたるに依り、官民有志奉贊會を組織し、汎く資を募り、神宮の外苑を造營し奉獻せんとするの企畫に就ては、已に道長官に訓示したる如し。神宮奉祀の旨趣は、先帝並に皇太后の聖徳を追仰し、報恩の衷情を表するに在るを以て、各官は道長官と共に、此意を體し管内有力者にして應分の醵金を願ふ者に對し、懇切斡旋の勞を執り、敬虔の至誠を致さしむるに於て遺憾なきを期すべし。

官紀の振肅、規律の嚴守に關しては本總督の反復訓示したる處なり。警察官は其の職務上、常に人民に直接するものなるを以て、一言一行の微と雖、其影響する處多大なるものあり。故に單に官紀に依遵して當面の職責を完うするを以て滿足すべからず。人に接するには誠意を以てし、事に當りては中正を失ふことなく、寛嚴共に其の宜を得るを旨とし、單に治安の維持のみならず、民心の感化に於て十分の實績を擧ぐることに努むるを要す。各官は宜しく率先身を以て範を示し、常に部下の統率督勵に怠ることなかるべし。

一般の事項に付ては、別に警務總長をして詳細訓示せしむべきを以て、各官は克く其の旨趣を體し一層の勵精努力を以て其任務に盡瘁すべし。

◎上海江陰砲臺の降伏

上海江陰砲臺革命軍に降伏し軍艦一隻も亦革命軍の手中に歸せりとの報あり(東京電報)

◎山東省革命黨の活動

山東省各地に革命黨多數入込み活動中にして近く獨立の宣布をなすべしと傳へらる(東京電報)

◎假面を裝ふ獨立宣布

南方獨立軍中北京政府と連絡し革命軍の機密を探らんが爲特に八百長的獨立宣布をなせるもの及び南北兩軍の板挾みとなり已むなく獨立の假面に一時を糊塗せるものあり廣東獨立宣布の如きは其一例にして猶革命軍の樂觀を許し難き形勢にありと(東京電報)

◎蔡鍔の贊同

蔡鍔は既に袁總統附帶條件に贊同の意を表せりと(北京特電)

◎臨時責任内閣の組織

政府側の消息に依れば目下北京政府は臨時責任内閣組織準備中にて總理は徐世昌及び李經儀の二氏最も呼聲高し(北京特電)

◎米支借款交渉進捗

疑問の裡にありし米支借款は北京政府と米國資本家との交渉進捗しつゝあるを以て近く其の成立を見るならんと傳へらる(東京電報)

◎餘金引渡反對

四國政府は支那政府が鹽稅剩餘金を南方討伐軍費に充當せん事を慮り四國財團の剩餘金引渡に反對し日本と同一態度に出づる事に決せりと(東京電報)

◎袁總統の近狀

十七日消息通の談に依れば袁總統は昨今談話中頻りに日本の語を挿入し其の周圍の人物も日本に倚らずしては何事も成し得ずと覺り來りしが之等は目下の日本政府の沈默を薄氣味惡く思ひ居る模樣なり近來袁總統は折々逆上し唇を嚙み出血して閣の人を驚かす頻りなりと(北京特電)

◎露軍土軍を驅逐す

露軍は軍艦の掩護の下に猛烈なる戰鬪を行ひ土軍をトレビゾンドの東方十七哩の地點に位せるカラデール河の左岸に築壘せる陣地より驅逐せり土軍がベーバード方面に於て行ひたる數回に亘りての攻撃は多大なる損害を蒙りて撃退せられたり(露都電報)

◎秋山少將戰線へ

露都十七日發來電に據れば秋山少將の一行は戰線に向つて出發したりと(東京特電)

◎露獨戰機熟す

北氷洋方面は目醒しき活動なかりし露獨國境方面は兩軍共戰備の充實完成したるを以て近く決勝的大戰行はるべし(東京電報)

◎日銀利下非難

日本銀行に於ける利下決行は時機其當を得ざるものとして一般の不評を招き我財政の信用を失墜するものなりとの非難盛なり(東京電報)

◎譚人鳳歸國す

革命黨の重鎭譚人鳳は十七日歸國せり(東京電報)

◎警務部長會同

各道警務部長憲兵隊長會同第八日は十八日午前九時より憲兵隊司令部會議室に開催、古海警務總長統裁の下に豫定の日程に入り午前午後とも打合せ事項ありて午後三時閉會、之れにて今回の會同は終了せり

◎各警務部長の視察

憲兵隊長警務部長會議は愈々十八日午前を以て終了せるより入京を機となし市内其他の視察を爲すべしと而して十八日午後は新町病院及び昌德宮秘苑十九日は午前工業傳習所午後京城監獄火葬場二十日は西大門監獄實習院製絲場居留民府醫院二十一日は永登浦皮革會社等を視察す可しと

◎定例長官會議

十八日は定例長官會議日なるより寺内總督以下各部長官局長等は午前十時總督府第一會議室に參集、重要政務に關する協議打合せありて正午前散會せり

◎新聯隊旗五旒

廿一日朝捧持著龍

十八日午前十時宮中にて御下賜相成りたる第七十三、第七十四、第七十七、第七十八、第七十九、第八十の各歩兵聯隊及び騎兵第廿五聯隊に對する新聯隊旗は各旗手之を捧持して廿一日午前八時四十分著龍の豫定なるが右の内第七十九、第八十の二旒は大田及び大邱各自聯隊に保管し廿三四日頃より井口軍司令官は大田及

◎財部中將出發

旅順要港司令官海軍中將財部彪氏は歸任の途十七日入京朝鮮ホテルに入れるが、同日は總督府に寺内總督を訪問敬意を表せる後森武官の案内にて昌德宮、中央試驗所其他を見物し、十八日朝南大門驛發汽車にて北行せり、中將は京義線及び安奉線は初旅なるを以て沿路視察に便ずる爲め特に晝間を選びたるが十八日安東縣に一泊の上旅順に向ふべしと

◎釜山上陸軍隊

第三琴平丸より新設第十九師團歩兵七八、の一部、將校廿一名準士官四名下士以下六百八名、馬匹三頭及び野砲二五、の一部將校一名下士以下廿七名馬十七頭は輸送指揮官歩兵少佐星野文一郎氏引率の下に十七日釜山上陸一泊の後十八日午後一時五十五分の軍用列車にて各其衛戍地に向ふ可し之れにて釜山上陸兵は完了を告げ十九日頃より元山に於て上陸ある可しと因に釜山上陸は總員は各科合計兵員二千三百名馬匹二百五十頭なりと(釜山)

◎橋本師團長

師團長會議の爲め東上中なりし第九師團長橋本陸軍中將は二十日午後八時五十分龍山著歸任の豫定なり

◎立花師團長

師團長會議列席の爲め東上中なりし第十九師團長立花陸軍中將は二十日午前八時五十分著列車にて著任の豫定なり

◎佐藤參謀長東上

佐藤第九師團參謀長は參謀長會議列席の爲め十八日午後八時龍山發東上の筈なるが其不在中に於て第九師團の歸還は終了すべきに就き金澤師團へ歸任する豫定なりと

◎前駐日露大使

五月二日京城通過

前駐日露國大使マレウイッチ氏は歸國の途三十日東京驛發五月二日朝京城著同夜の急行列車にて歸歐の途に上る豫定なりと

◎勝田鮮銀總裁

朝鮮銀行總裁勝田主計氏は二十二日午前八時五十分南大門驛著にて歸任の豫定たりと

◎松永道長官歸任

松永京畿道長官は事務引繼ぎの爲め前任地平壤に出張中の所十八日午後七時三十分南大門驛列車にて家族同伴歸任し直ちに永樂町の官舍に入る可しと

◎工藤課長渡臺

臺灣に於ける土地調査終了後の狀況調査の爲め渡臺すべき工藤土地調査局調理課長は山崎監査官及び書記一名同行來る二十日出發二十二日門司出帆の信濃丸にて南行の豫定なるが主として臺灣南部を視察し五月九日頃臺地出發歸任すべしと

◎朴泳孝侯消息

侯爵朴泳孝氏は十七日大邱より釜山鎭に向ひしが同驛にて下車其れより海雲臺に向へり

◎福原男來鮮

貴族院議員男爵福原俊丸氏は朝鮮各地視察の爲め來月上旬來鮮の筈なりと

◎辭令

十五日附左の通り辭令あり

新義州驛長兼荷扱所主任書記 名村敏一

新義州驛助役書記 阿野昇一

營業課出張所在勤書記 小西文次郎

任新義州驛長 阿村秀雄

任新義州荷扱所主任 [illegible]

太田驛助役書記 [illegible]

◎京城醫專開校式

京城醫學專門學校は來る二十日午前十時開校式を擧行すべし

仁川

▲倉庫敷地許可期 曩に仁川穀物協會員有志が稅關構内の一部數百坪を借受け元の共同倉庫となすべく其筋に敷地使用申請中なる事は既報したる通なるが不日許可ある可きを以て認可あり次第實行する事となり既に其準備に著手せり

▲檢米成績 本月一日より十五日に至る仁川米穀檢查部に於ける輸移出の檢查成績を開くに檢查總數四千八百七十五叺の中上格米四百七十叺下格米四千三百九十四叺輸移出禁止十一叺(再調)にして其夾雜物混入歩合は六步弱にて此仕向地は大阪へ四千八百六十四叺なり廻著米の檢查成績は玄米一萬五百七叺中白米三百五十八叺にして夾雜物は平均九分弱の混入步合を示せり

釜山

▲商議定款再却下 曩に却下せられし釜山商業會議所定款は其後役員會の決議に依り之が改訂を行ひ花輪書記長之を携へ晉州へ出張の上道廳を經て總督府へ進達する所ありしが今回又復不備の點ありて十七日却下されたり

▲佐々木道長官 道長官會議の歸途釜山公立商專の十週年祝典並に各學校職員備員の表彰式の臨場の爲め滯在中なりし佐々木本道長官は十七日東萊溫泉に至り十八日午前十時半列車にて馬山を經て歸任す

▲若松府尹招宴 若松釜山府尹は十六日午後滯在中の佐々木本道長官釜山府協議會員同學校組合會員其他を小倉庵に招待晩餐會を催したるが席上若松府尹は再選府協議會員に對し前期間の盡力を謝し尚學校組合會議員の大正五年度豫算調査の勞に對する挨拶を述べ大池忠助氏の來賓代表謝辭あり次に佐々木本道長官は若松府尹の爲めに乾盃を擧げ主客三十餘名十二分の歡を盡し散會せりと

▲若松府尹入京 釜山府尹若松兎三郎氏は釜山墓地の件に付當局者と打合の爲め十七日午前十時半發急行にて京城に向ひたり滯在は三四日間なるべし

▲慶南印刷會社の許可 慶南印刷株式會社設立の爲め釜山府富豪香椎源太郎氏外九名發起人となり認可申請中なりしが今回許可の指令ありたりと因に同社が使用す可き工場は元林正實氏の所有工場を買收したるものなり

鎭海

▲艦砲射擊演習 鎭海灣に入港中なる軍艦出雲及び第十第十六の兩驅逐艦は十八日より四日間南海島南方海上に於て艦砲射擊演習を行ふべし

牡丹臺より

藤村長城

○切詰めた時間に南大門驛に驅け付けると安東行列車は途中汽罐車の故障の爲め一時間半遲延するとの事、待合室の混雜名狀すべからず、十一時五分漸く發車す、車窓の月朧に蜿蜒でも謠ひ出しさうな柔らかなる月光の野を汽車は全速力で驅走する安東驛に著く迄には遲延した時間を取り戻すのださうだ○開城に著いた時一睡の夢から醒めると豪雨硝子窓を洗ひ流して居る明日の天候を氣遣つて心は暗くなる○四時二十分には平壤に著くべき筈の列車が遲れて五時十五分に著いた雨は聊か小降りに成つた腕車を驅つて夜明の牡丹臺を見に出掛ける昨日の暖氣に油斷して外套を著なかつたので濕つぽい朝風が身に泌みる○久しぶりでお牧さん夫婦に逢つて種々の話を聞きながら牡丹臺錦繡山一面に烟る春雨の朝景色を賞した天氣は矢張り望み少なく時々ザアーと來る(十七日)

人事消息

▲工藤英一氏(平南道長官) 入京中の處十八日朝家族同伴歸任

▲佐々木幹三郎氏(朝鮮製絲會社取締役) 入京中の處十八日朝內地へ向け出發

▲岡田貼二氏(同) 同上

▲橋本柳吉氏(奉天實業家) 十八日入京

▲今岡漫吉氏(歩兵第七十九聯隊大尉) 十八日午前入京美觀旅館へ

▲廣瀬晉三郎氏(同中尉) 同上

▲濱田小一郎(同少尉) 同上

▲大分縣議會議員一行 十八日午前仁川へ

▲幸坂九十九氏(憲兵中尉) 十八日午前內地より入京不知火へ

▲國枝博氏(土木局技師) 十八日大邱及び慶州へ出張

▲吉川岩喜氏(平壤鑛業所技師) 東拓打合の爲め二十日出京

春の雨

●粛やかなる御前能 伏見宮邸へ御幸

十六日 聖上陛下には豫て御沙汰あらせられし如く午後二時宮城御出門、陪乘、波多野宮相、內山侍從武官長以下の供奉員を随へさせられ鳳輦は霞ケ關より永田町赤阪見附と御順路を櫻花の隧道を過ぎて紀尾井町なる伏見宮邸に行幸あらせられたり 當日の御模樣を洩れ承るに宮邸正玄關には貞愛親王殿下を始め奉り馬場別當、蒲須御附武官、御牧事務官等奉迎す 陛下には奉迎の宮殿下を始め一同に御會釋を賜ひ馬場別當の御先導にて便殿に入御あり便殿には洋館階上を充てまへらせ金地に土佐繪を畫ける御屏風に和洋の盆栽を以て飾られたり 陛下には御小憩中殿下に御對面次で馬場別當以下重なる家職に對し拜謁仰付られ內の櫻花を御覧ありて再び馬場別當の御案內にて餘興場なる階下の舞臺に臨御あり能舞臺の正面に據たる金屏風を立て廻し錦繡の覆を掛けたる御卓子を安置せり玉座に著かせらるゝや陪觀を許されたる供奉員家職等は玉座の左右に居流れ斯くて鼓笛肅かなる御前能は開始されぬ、先づ梅若萬三郎以下舞臺の中央に現れ御前に向つて恭しく最敬禮の上梅若萬三郎は『葵上』を同六郎は『夜討曾我』を演じ奉れば 陛下には始終御熱心に御觀覧あり殿下に對し種々御詳評をさへ遊ばされたりと承はる右終りて松旭齋天洋の奇術あり最後に御大禮の光景並にキネマ商會の手に撮影されたる歐洲大戰爭スミス宙返飛行狀況等活動寫眞を天覧に供し奉り右終りて後御食堂に入らせ給ひ午後七時還幸仰出されたり（東京）

●明治神宮の淨め砂 山梨縣濁川より御採用あらん

山梨縣北巨摩郡なる駒ケ嶽山內石尊の西北端に水源を發し菅原御料林の西北端を流下する濁川は降雨出水毎に雪の如き白砂を流失し居れるが砂中には雲母を含みて光輝あるより壁の塗料として珍重されつゝあり今回明治神宮御建立に際し外苑二十二萬坪厚さ四寸の敷砂としては豫て京都加茂川の砂を御使用相成るべき手筈なりしも前記濁川の白砂上聞に達し御採用相成べき御模樣なりと山梨縣にては愈々御治定となれば中央線日野春驛より字下日野迄引込線を敷設して一日四十車宛を運搬すべく御沙汰の下るを待ち奉れりと（東京）

●花見列車の運轉 第一回は來る三十日の日曜日

愈々花見の季節と成り漢江沿岸から淸涼里、往十里にかけて柳の綠濃やかに牛耳洞には薄紅の櫻の蕾がふくらみかける頃と成つた例年の例として鐵道局では花見列車にもう一箇月も以前から何彼と準備に忙しがつてゐたが愈々來る三十日の日曜日に其第一回を出す豫定で目下頻りに準備に忙殺されてゐる三十日の日曜日にはまだ滿開と迄は無論行くまいが南枝の蕾半ば綻びて溪流の潺湲たる音と共に樹の間に囀る群れ鳥の聲も春めいて行樂の興趣を添へるから定めて賑ふ事であらう

●多數の…… 一等十一…二百八名二等九十六名三…… 汽船會社日本代理員となり上海…… ウイレソノフ氏は也東京帝國ホテ…… 下は比較的平穩であるが北部に在る……

●東久邇宮妃の御著帶式 往務の臈たき御姿

東久邇宮妃聰子內親王殿下には五月下旬御分娩の御豫定なればいよ〳〵十九日午前十一時麻布市兵衞町の宮邸に於いて御著帶式をあげさせらるゝ筈なるが當日の御次第を承るに妃殿下には往務の臈たき御姿で王殿下さともに出御あれば久邇宮彦王、同妃俔子兩殿下をはじめ奉り鈴木、吉川兩侍醫、稻原、萩原兩御用掛、北尾產婆等參列あり 皇后陛下御使として參候せらるべき吉見皇后宮より奉授する御帶は產婆の手を經て捧げ御著帶後一同より祝詞を言上し正午には御親戚池田侯、壬生伯、仙石、折田、竹田、東園各子夫人をはじめ有馬御用掛以下に御祝宴を賜はり殿下よりは兩陛下に御祝品の獻上あり、又畏き邊りよりも御鮮魚料一封の御祝儀を賜はる由（東京）

●第七十八聯隊本部龍山到著

龍山に設置せらるゝ步兵第七十八聯隊本部は聯隊長池田英太郎氏以下將校四十六名、下士以下六百八十七名十八日午前十一時四十分龍山著の臨時列車にて到著プラットフォームには出迎の井口軍司令官以下軍司令部要員、岡本佐藤兩參謀長以下第十九師團、第九師團要員一同と挨拶を交換し驛前廣場に整列の上兵營に入りたるが京龍官民の出迎、京城府、愛國婦人會員の接待等盛なりき

●私生兒認知の判決

釜山に於て一般の注目を惹きたる藤木きく對萩野彌左衞門の私生兒認知扶養料四千九百九十圓請求事件は釜山地方法院に於て審理中の處十八日原告藤木の訴訟を却下し費用は原告の負擔とすとの言渡ありたり（釜山）

●喉咽突て自殺 良夫の薄情を怨んで

十八日午前零時半頃京城本町一丁目五十三番地小川安藏方二階六疊の室に於て同人の內縁の妻森きよ（三十）が鋭利なる剃刀を以つて自身の前頸部に一回斬り込み氣管を大部分切斷して自殺を企てたる騷ぎあり急報に依り本町署より係官警察醫現場に出張して取調べたるに創傷は割合に淺かりし爲め生命に別條なく直ぢに最寄醫院に入院せしめ目下加療中なるが聞く所に依れば安藏は家事の都合上昨年一旦きよを內地に立歸らせたるに三日前再びきよは歸り來れり然るに安藏は早や別に新しき女を拵へ前記の所に同棲し居るより之れを見たるきよは嫉妬の餘り抑へ難く安藏と口論の末前記の仕末に及びたるものならんと

●婦人を亂打し警官に咬付く 呆れた暴れ者

京城櫻井町二丁目玉井方豆腐賣子小松孝太（三七）は四月七日午後四時半頃黃金町三丁目路上に於て永樂町二丁目田艮畯の妻車姓女の長男田大興と車姓女とを口論を惹き起した揚句に竹を堅めて所嫌はず同女を毆り飛ばし爲に疾病七日休業三日間を要する打撲傷を負はせたる騷ぎに本町署の巡査が出張して同人を取押へんとしたるに荒れ狂へる孝太は巡査に激しく抵抗して右手の食指に咬みつき全治十日間を要する創傷を負はしたるも遂に取押へられ本署に引致されて取調べの上檢事局に送られたり

●琵琶を彈じて惡事を働く

山口縣熊毛郡曾里府村生れ當時京城明治町二丁目居住、山口岩助（二〇）は昨年十二月二十一日京城本町路上にて友人なる松尾某と斯き紙の購入資金なりと稱し十二圓二十錢を騙取したるを手初めに本年一月三十一日には永樂町の紙商播本商店より換造洋紙三連（五十五圓五十錢）を騙取し二月中には某所にて時計一個を盜み質入押賣依賴を受けたる琵琶一個（二十五圓）を橫領して彈じつゝ各所を排徊し惡事を働いた揚句同品を入質し代金を費消する等犯罪の數々を重ね京城地方法院にて懲役六箇月の處分となりたり

●線路で思案中

十七日午後零時四十分頃仁川發京城行列車が扭峴驛附近に差し蒐りし頃線路上に一人の若者が蹲り何か思案に耽り居るを發見し直ぢに列車を停め同人を警官に引渡したるが仁川宮町三丁目大橋兵二郎（二〇）と云ふ精神病者なりと

●京城醫專の開校式

四月一日より組織を改め專門學校に昇格せる京城醫學專門學校にては來る二十日午前十時より寺內總督臨場の下に開校式を擧行すべし

●書籍を窃取す

埼玉縣大里郡折原村生れ當時京城明治町二丁目居奧野方大郎（三〇）は旅順に於て横領、詐欺等前後三回入獄したる曲者なるが三月二十日午後七時頃京城本町一丁目大阪屋號書店にて店員の隙を窺ひ英和辭典外四冊（九圓六十錢）を窃取し本町署に檢舉せられ京城地方法院にて懲役二年の處分となりたり

●簞笥の中から

京城櫻井町一丁目居店員李春景（二〇）は四月十四日午前十一時頃本町四丁目榛葉菓子方に忍び入り簞笥の中に仕舞ありしお召一反（十五圓）を窃取したる爲め本町署に引致されたり

●弘法大師入定忌

來る二十一日は例年の通り弘法大師の御影供聖日に相當するを以て旭町二丁目遍照院に於て廿日午後三時逮夜法要同廿一日午前十時午後二時二座法要の後說教あり廿一日夜八時より……尚ほ當日有志者より一般參詣者に接待茶菓の……六時より鶴澤小庄、鶴松一の奉納淨瑠璃あり

●龍山高野山の正御影供

四月二十一日は正御影供と稱し弘法大師が高野山に入定し玉ひし縁山なるを以て來る十八日より二十三日まで特に二十一日は信徒相集まりて夕勤行あり特に二十一日二十二日二十三日の夜は藤川天狗連の奉納淨瑠璃會を催す由

此間軍人後援會朝鮮支部發會式の時、開會を待ちながら朝鮮ホテルの後庭で崔城博士、鳥尾長官、大塊副總裁なんどの宗匠連が揃つて甲論乙駁俳談に花を咲かせ天狗競べをしてゐる所へ飄乎と顏を出したのが佐藤博士▲「一體俳句なんて名詞を並べるばかりで詰らんものぢやないか」と互彈を送る▲鈴木局長も後を次いで「此頃俳句の中に女學生か中學生でも使ひさうな變な漢語を入れて得意になつてる者があるがその組ぢやないのかい」は猛烈な橫槍▲同じ日の大食堂で蠅が二三匹居るのを見附けた人が奇蹟の樣に不思議がつてゐると豬原支配人の曰く▲「常には決して居ないのですがこんなに大勢の人が一時に這入つてくると何うも人に附て來るやうです」

花と他の運動界

蕾ひ立つた京龍野球界の活氣 來月上旬鐵道公園前に大會開催

花、花！花‼、風流も無風流も花を語らなければ人間の仲間から除外されさうな有樣である、あと一二旬を出でず咲き出でようとする花を待つてる人たちは『何事ぞ花見る人の長刀』此のいゝ氣候に無情にバツトを振り廻すでもあるまいぢやないかと言つてのけるだらうが春は花ばかりの春ではない——と京龍の運動界は花に先き立つて蕾ひ立つて來た、此處に京龍の運動界を通觀して見よう京城に於ける野球の競技は十六日の日曜訓練院に開催された遞信俱樂部對京城實業團（本町通りの商店會社員より成るチーム）の

□試合に火蓋を切られた、素より新綠の頭を以て雄飛しようとする各組の練習振りは頗る猛烈なるものがあるが、鐵道には現在第一第二と二組のチームがあつて主將松島松郎君を始め門田見緒俣、林などの闘將に縱横に活躍鼓舞されて益々に練習中であるが、大會でも催うす場合には三組位は苦もなく出來る程度になつてる、來る三十日訓練院に開催の大朝通信部主催の競技會に於て奮戰したのは鐵道俱樂部運動部の主催で來月の上旬頃春季野球大會を鐵道公園前のグラウンドに催し京城仁川の主なる

□野球團を招待してマッチをする計畫である、現在京城に於いて野球のチームを持つてるのは鐵道の二組、遞信俱樂部、朝鮮銀行、京城俱樂部（實業團）京城中學、五星學校、皇城青年會、儆新學校（以上三組朝鮮人側）などで近い所の地方には仁川商業專修學校等に各一二組宛ある、內地人側で優勢なのは鐵道、遞信俱樂部、仁川商業專修、之れに次いで京城中學、京城俱樂部などだらう、練習も鐵道を筆頭として頗る猛烈だ、地方では割合に振はず、開城に一組、平壤に二組、大田に一組、大邱に二組、三浪津に一組、釜山に二組ある丈だが、今度の鐵道主催の春季大會には遠距離の所は招待しないだらうといふ、朝鮮人側で比較的

□強い五星學校 出身者を以て組織された皇城青年會と鐵道俱樂部野球部は昨秋訓練院に對戰しゲームは幾何だつたか青年會側が惜しい敗をとつてゐるから今度もし鐵道軍と對戰するとなれば差詰その復讐戰といふべく倶に善戰する事だらうと思はれる、又久し振りに各チームが會合してその對戰が實現されれば面白い競技が見られるだらうと今から腕を叩いてゐる者もある、野球は大體以上の樣な狀況だが翻つて庭球の方は如何と見ると之れ亦野球に劣らず活況を示してゐる、次號には庭球界に移らう（つゞく）

●連絡船上陸客 十七日午前……

十七日午後入港壹岐丸一二等客一等（三名）吉川松五郎外八十二名

天氣 曇り 四月十九日……

ポンチ 毛ぞめ物語

(1) 叔母の竹子は近頃白毛が、ふゑたので丸で氣狂ひの樣に毎日怒り散して居るので花子は秘密に自分の赤毛を染めて皆んなに賞められて居る〇〇〇〇〇〇をすゝめた

(2) 竹子は自分のしらがの次第に黑く染つて行くのが鏡にうつるので不思議に思ひつゝ鏡の疑が解たやうに喜んで其白毛染の名を聞きました 花子は之は高橋盛大堂發明の安全コクオーといふ衞生試驗所試驗濟、博覽會金牌受領の無害しらが、赤毛染であると說明しました

(3) 竹子が宅へ歸りますと旦那は來客と思ふてマーマーと座敷へ通して丁寧に挨拶した竹子は笑つて私ですよ能く御覧下さいと言ひますと旦那はビックリ、オヤお前か、髮が艶よく眞黑で有るから容貌が良く見えたとてわ私の白毛頭が恥かしいと早速安全コクオーを買ひにやりました

(4) 安全コクオーのお蔭で、旦那さ、竹子は白毛が、花子は赤毛が眞黑に艶よく染り三人共に大喜びで昨日は芝居、今日はお花見と毎日愉快に日を送りました

安全コクオー專賣店 大阪 高橋盛大堂藥局
化粧品店、藥店に販賣す

京城第一のカフエー
に朝鮮美人現はる
カフエータイガーの大評判

料理其他に大改良を加へ大に好評を博すると共にハイカラ丼（卅錢）の賣出しに依て一層人氣を添へ殊にタイガーは此度は內外の御客樣の御便利を計ると同時に朝鮮趣味を味はせられん爲め朝鮮美人を兩三名御給仕として召抱へられましたれば內地美人同樣御愛顧の程御願申上ます御花見の御辨當には當店の御手軽洋食辨當又は輕便立食の御用命を特に御願申上げます

京城南大門通三丁目二六番地（電話二五七一番）
カフエータイガー

タングステン經營者に告く
六十五度以上の「タングステン」
高價買入申候
移出の仲介取扱可致候 御希望に依り直接輸
京城本町二丁目二六（電話二二〇番）
日東商會 吉邑祥一

●開店披露の爲め當分大勉強仕候●

△支那料理開店

料理「入は特に北京より呼び寄せ四月十八日より開店仕候間何卒御引立の程願上候」
出前「は遠近に不拘電話六百三十三番へ御申越被下候へは早速御屆け申上べく候」
宴會「は五人以上卅人迄‼特等金廿五圓上等十六圓二等十四圓三等十二圓四等十圓
五等「八圓等如何樣とも御用命に可應候尚小人數は一圓二圓三圓席は最も便利に候」

京城觀水洞（水標橋北半丁）
中華料理 王丕鈞 大觀園 電話六三三番

子宮座藥 中將球 は斯の如き諸種の婦人病に是非必要

中將球は本舖が多年苦心研究の結果發見した子宮座藥で中將湯と共に子宮內膜炎、白帶赤帶、こしけ、子宮痙攣、子宮炎、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒、子宮糜爛、惡臭、搔痒、尿意頻促、月經時疼痛、痳毒性子宮病等に用ゆれば內外相俟て如何な難症でも忽ち全治るし又常に本劑を用ゆれば恐るべき彼の痳毒の傳染を完全に豫防し得られます

定價	
百廿個入	五圓
四十五個入	二圓
廿個入	一圓
九個入	五十錢
三個入	二十錢

本舖 津村順天堂
本店 東京日本橋通四丁目（電話本局六十二番六十三番 振替口座東京六〇八番）
支店 大阪堺筋大寶寺町（電話南二十五番 振替口座大阪四五六番）

診察時間 自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院 電話八一二番

…洋なる春の海を辷るが如く午前…一時横濱新港岸壁に繋留されたるが…太平洋航路を開始したる紐育ガストン、ウイリアム、アンド、ウイダ…日本總支配人ギブス米國茶業組合一行オチス、ブール、クリフトン、に就て語るやう『カランザ將軍の治下の墨國に居る爲めに國內に在る食糧品を以て僅に生活し居れり』（東京）

●新師團軍旗親授式（東京特電）

陸軍大臣拜受して旗手に授く

新設第十九師團所屬各部隊の軍旗親授式は十八日午前十時三十分より宮中正殿に於て御擧行ありたるが其の次第を承はるに大元帥陛下には午前十時侍從長侍從武官を隨へさせられ正殿の御式場に出御正面玉座に着御あり皇族、大臣參謀總長、教育總監、式部長官等侍立次いで陸軍大臣は聯隊旗手を從へて御式場に參進するや侍從武官長は軍旗を陛下に捧げ奉り陛下は親しく陸軍大臣に授けたまひ大臣之を拜受して後方に控へたる聯隊旗手に授く了つて陛下には勅語書を陸軍大臣に賜はり式を終る、斯くて各軍旗は聯隊旗手捧持し御車寄より退下二重橋正門を出で直に所屬聯隊に向つて出發の筈なるが親授ありたる聯隊及び名譽の旗手は下の如し

▲步兵第七十三聯隊步兵少尉大西小四郎▲步兵第七十四聯隊步兵少尉山田保▲步兵第七十五聯隊步兵少尉赤城茂三▲步兵第七十六聯隊步兵少尉竹內安守▲步兵第七十七聯隊步兵少尉細木繁▲步兵第七十八聯隊步兵少尉山下五郎▲騎兵第廿七聯隊騎兵少尉平井卯助

宮中の能舞臺

近く何れにか御下附あらん

聖上には十六日午後三時宮城御出門伏見宮邸へ臨幸あり、能樂を天覽あらせられたるが能樂に就て思ひ起さるゝは昨秋御大典後宮中に於て一大天覽能の催されし

=當時新に御建造=

ありし能舞臺なり同舞臺の御處分は其後如何に御決定相成りたるが既に京都に於ける御大典各種の御建築物も夫れ〳〵御處分と決定せる今日此能舞臺の御處置は能樂に携はる者の注意し居る所なるべし當夜の演能は四座五流の能の各家元が其身一代の光榮として

=華生の妙技を盡=

したるもの又た舞臺は神々しき白木造りにて寸分だに古格に違はず其の鏡板に描ける老松を竹の土佐繪小堀鞆音畫伯の謹寫及び橋がゝりに添ふ一の松より二の松、三の松の美しさとう〳〵たらり、とうたらり三皷一吹の世にも妙へなる調は不夜城の大內山の空に響きて實に昭代稀有の盛事なりしが件の舞臺は今回或は華族會館へ御下賜となるか然らずんば

=明治神宮の寶前=

に御寄進相成るかいづれかに相成る事となり近々一應御取り壞はしに相成る由に承れり、依つて先づ華族會館の當事者について訊せば同館にはいまだ能舞臺の設けなく、素謠の時には日本館の座敷を用ひ、舞ひの時は舞踏室を舞臺代りに用ひ居る始末に付、現在テニスコート及び馬場に隣接せる所に空地あるを幸ひ同所に新築せんかとの內議も一再ならずありたる程なれば、今回

=右御舞臺の下賜=

を願ふ事にすべきかとの議もあれど何分にも大切なる建物なれば其保存方法に確實なる見込立ざる以上御下賜を願ふべきか否かは決定せざる由なり、次に明治神宮の方も先帝に御寄進なれば畏くも目下青山御所內にある英照皇太后以來の御由緒の舞臺こそ相應はしからんとの議もあり宮省當局其他にて猶詮議中なるが何れにしても件の舞臺は宮中正殿の

=眞正面に高く建築=

されある事とて正殿への光線を遮る等不便少からざるに付き御下賜か御寄進か其他の方法決定次第御取壞しに相成る趣に拜承す、一說には皇后陛下には右舞臺にて當夜の儀の演能を一度御覽ありたき思召もあらせらるゝにつき取壞は其御事ありての後なるべしとの取沙汰もありと（東京）

●撫順大山坑の大火災

損害約十萬圓

撫順大山坑にて十四日午前十一時突然坑內東七片より自然發火をなし火勢急速にして內部は忽ち濃烟に掩はれ七八兩片に瀰漫し上風口より

▲外部に奔騰 するに至り救護班は直ちに武裝を整へ坑に下り危險を冒して百方救濟に努めたるが收容者中支那人三名は蘇生十六名は遂に絕命し坑內小頭濱地正雄（五十）は行衞不明となり救護班中の四五名も亦負傷するに至れり此に於て止むを得ず火災の箇所を密閉し區域の

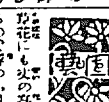
▲擴大を防止 して後患を絕ちたる上尙極力內部を搜索中なるが當日米倉炭坑長は坑內に降り長井主任と共に內部の狀況を巡視し一旦坑內事務所に立歸りたる處へ七片に自然發火ありとの急報あり續いて第二の注進亦來り烟りは既に眼前に襲來したるも顧みず坑長は毅然立つて現場に馳せ向ふ事七八丁に及びしが濃烟前路を塞ぎ坑道內に渦を卷て逆るより直ちに坑內事務所に引返して

▲全員引揚を 命じたりと其際坑內に從業せし全員は約二千名ありて前記死亡者の外支那人の行衞不明者尙數十名あり作業は兩日間中止休養の上事變の箇所を除きたる他の部分は採掘を繼續し罹災の箇所は注砂塡充を行ひ約二箇月後には完了する豫定にて鐵管其他の材料を撫順炭坑より取寄せつゝあり

▲最近出炭量 は千四百噸內外なりしが此罹災箇分は八百噸に減ずべく之等は古城子及び萬達屋二坑の出炭增加に依り近く容易に補塡し得べき見込ありて結局の總出炭には何等の變化を及ぼさゞるべし損害額約十萬圓なりと（撫順）

●賑しき大邱祭

大邱府にては十七日午前十一時より大神宮神殿に於て大邱祭を執行したり、先づ神官の祝詞に次で竹崎大邱府尹入澤慶北道一部長等はじめ赤澤校長以下大邱尋常高等小學校教員生徒氏子總代其他參拜し續いて大邱各學校生徒參拜當日は朝來快晴なるに加へて櫻花の滿開見頃とあつて參拜を兼ねて觀櫻するもの多く境內頗る賑ひたり



花の咲く迄（3）

▲丈高いのと變るもの

花にも丈の高いのがある五尺にも六尺にもなるので迂つかり花壇に植込んだら其で目の前を遮つて後のものは何にも見えぬ樣になる、で此等は一方見の花壇ならば一番後に植え四方から見る花壇なら中心に植えるが可い其の種類は▲ヂキタリス▲ホリホツク（立葵）▲ニコチアナ▲ダチユラ▲コスモス▲ヒビスカス▲マニホト▲アマランサス（雁來紅）▲ヘリアンサス（姫日葵）等である▲ヂキタリスは二年草であるから播種の年は咲かぬ翌年以後と思はねばならぬ▲アマランサスは大きくなつてから移植すると面白くないから移植するなら小い內に試みるべく或は咲かする場に蒔きつけにしたい▲コスモスには早咲の大の低いのもあるから其分なら中花壇に植ゑ遲咲のなら奥花壇がよい又種は勢の強い枝で枝を切つて挿木して置くと根が出てあるから梢先へ花が咲くから斯うして鉢植にしても可い▲次に夏草には斯様物がある▲パッシフローラ（時計草）▲ナスターシヤム▲クレマチース▲朝顏、夕顏（アイポーミヤ）▲グランチフロラ）▲ミナサンギニヤ▲スマイラツクス

此等は鉢植にして最も可く又塀垣にも適するものスターシヤムは蔓性もあるけれども延びるものは二丈にも三丈にもなるから生ながらの緑門の門を作ることもある夕顏も其通り手さへやれば何處までも延びる然し大鉢に植ゑて氣よく作ると暗晷の淵上りに目も醒むる許りの指標な花を見て居る迄で勵いて見せるから却々趣味が多い又た朝顏は皆さん御存知であるから記さぬ

▲芋殼の甘煮

芋殼を銹て水へとりあく をぬき一寸位の長さにきり、胡に煮出し醬油砂糖にて汁をたつぷり作りこの中にて芋殼を煮こみ、よく煮上りし頃を見計ひ器へとり上より花松魚をふりかけて侑めます。

商況

東京株式特電

	十八日前場寄付	大引
[illegible]	一九二、九〇	一九二、五〇
[illegible]	一六〇、三〇	一六〇、二〇
[illegible]	一三六、三〇	一三六、三〇

債券現物特電（前日との比較）

[illegible]

公債直取引（前日との比較）

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

下關期米特電

十八日前場 手許筋の賣物縒えざるも小相場思ひに利喰ひのみにて一方買氣も又薄ければ

	寄付	大引
四月限	二三、〇〇	二三、〇〇
五月限	二二、二〇	二二、一〇
六月限	二二、四〇	二二、一〇
七月限	二一、九〇	二一、九〇
八月限	二一、五〇	二一、六〇
九月限	二一、〇〇	二一、〇〇

朝鮮物產特電

[illegible]

雜報

●牛皮漸く色めく

久しく跡付模樣を呈せし牛皮界も昨今山陽皮革商人の入込みあり一方朝鮮皮革會社も此處又も買附に氣乘り模樣にて數日前來頓かに色めき立ちて一二三圓高（一圓を乘じたる六十八）を唱ふ

▲支那皮の輸入減退

[illegible]

▲勢如何に依り支那の大勢

[illegible]

●莫綿更に昂騰

[illegible]

相場現出に五圓方の奔騰

[illegible]

●鍋釜類漸騰

[illegible]

●眞鍮と亞鉛線

[illegible]

●猿皮手堅し

[illegible]

圓方引締め前月來約一

[illegible]

●精米の昨今

[illegible]

●金物材目先

[illegible]

確實 迅速 マ 仁川海岸町 取引所仲買人 橋本次郎 電話一六〇番 六五番 六三二番

下關相場

▲朝鮮白米は騰保合 其後五十錢の小浪に過ぎずして…

●三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 ●三巴仲買店 電話三三三、三三二 電信略號（三又へ三ハ）

▲大豆は依然手堅し 前報後期に騰貴れ行き捗々しからずと雖も何分產地との比較上不引合なるのみならず其後出廻りも僅少なる旁各手持筋の堅張り居る爲め相變らず市況手堅く殊に大王物の如きは相變らず人氣強く傳川商青上品百三十以許りは十圓五十五錢に出來したりと而して其後の者荷はフヰツホ產僅か五十錢のみ▲小豆は保合 其後北滿產僅かに十錢の商着に過ぎざるも產地も亦安からぬに連れ各手持筋の氣張り居るため人氣惡しからず然れども何分米價の不引立なるに連れ兎角買氣の進まざる爲め市況活氣なく之れが爲め出來値は前報同様なり

京城正米

[illegible]

京城雜穀

[illegible]

南大門の廻穀

水原玄米	九四叺	汶川籾二〇〇叺
水原白米	七一叺	

仁川現物市場

[illegible]

釜山穀物市場

△正米（同事）依然として當地正米は朝鮮谷高く移出口に下引合の事なれば更に買氣起まず只精米口の必要所の買ひのみの事とて本邦期米の小高きに拘はらず氣配は保合ひ同事なり▲大豆 相も變らず出廻り品少なく小口取引のみにして保合の狀態なり

玄米	千三百三十一俵	
大豆	千百九十一俵	
玄粉	百三十五俵	

仁川期米

▲十八日前場 二錢安の入電

大阪前場寄付十四圓二十九錢と昨止りより二錢安の入電あり五錢先十一圓十七錢より六錢と込みて動かず…

連節六七錢を採

…み合ひ結局十七錢さ纏げ付の儘納會

行賀仲買店

仁川海岸町 長九 電話一一二二番 二〇三番 略號京城二又〇…

▲十八日前場 前場當限（四月限）十圓九十六錢…

市場零聞

▲前場焦げ付

大阪小安寄付六錢と入電を受けて十一圓十七錢と垂れて動かず依然保合小相場を繰り返し居れるより市場は一向氣乘りせず閑散を極め…

▲頗る閑散

…外見るべき前內行ばれず小口買ひたて鏡に動かず十七錢さ纏げ付きの儘放會したり市況は一向展開するの模樣なく

目先尙斯る狀態を…

仁川米豆取引所

十八日の六月限

前場	
寄付	十一圓十七錢
引〆	十一圓十七錢
高値	十一圓十七錢
安値	十一圓十六錢
出來	三千八百五十石

平均値段	
一節	十一圓十七錢
二節	十一圓十七錢
三節	十一圓十七錢
四節	十一圓十六錢
五節	十一圓十六錢

賣買取組高

四月限	二百石	
五月限	八千七百石	
六月限	四萬千百石	

出來値比較

十七日後場	前日と比較
一一、一七	一安
一一、一八	二安
一一、一九	一安
一一、一八	二安

▲期米の前途觀

…を期に精米界の前途に於ける需給の關係乃至四圍の事情より推測するも將來米價の前途は到底堅に止まるならんとの說多し…

▲期米目先觀

持續するか外なからん

居に非ず前途高しと或は目先を賭し

安き軟質米の多き年柄

▲再び改正問題に接近しつゝ追々變動

朝鮮米の標準米

現在の標準米は優良が爲め端境期に至り渡し米に困難

演藝案內

櫻井町 大正館

電話八七三

▲四月十六日より當館提供▲實寫歐洲に於ける…◇實劇…

御成座

電話一九一 御成町

十八回藝題 法方信明氏原作 迷ひ兒…

黃金館

黃金町四丁目 電話二六三七

▲四月十五日より…◎軍事探偵大活劇 第三プロテア…◎實錄三十三間堂棟木の由來…

壽館

詩町 電話一〇五〇

…

連日滿員の黃金館

初日以來每夜七時札止

▲舊派 實說 三十三間堂 棟木の由來 四卷續き

▲軍事探偵大冒險大活劇 第三プロテア 決死の卷 六卷續き

浪花館

明治町 電話二六〇番

◎大阪女義太夫本家 竹本閣昇竹本伊達若合同大一座來る 四月二十日より每日午後五時半開演仕候

▲御祝儀（竹本入登）▲二十四孝四段目十種香の段（竹本達昇）▲梅野由兵衛聚樂町の段（竹本伊達春）▲御所櫻三段目排慶上使の段（竹本長花）▲朝顏日記四段目宿屋の段（竹本昇六）▲太功記十段目尼ケ崎の段（竹本長春）▲菅原三勝半七酒屋の段（竹本伊達若）▲四段目寺子屋の段（竹本閣昇）

壽座

本町 電話五七八 四月十八日（五回目）

▲改正義團一行 四月十九日藝題 紅葉山人作 瀧の白糸…

滿蒙處分論

定價金一圓 京城日報代理部 振替貯金京城三〇〇番 露國大本營クロパトキン將軍原著 …

●解警戒

（四月十八日午後一時仁川觀測所發表）

▲中部の警戒を解く

小兒科専門 內科

京城旭町三丁目（元十全病院跡）

若槻醫院

電話二四六三

ドクトル メヂチーネ 若槻覺隆

秦醫學博士の嚴密なる動物試驗を經て販賣する

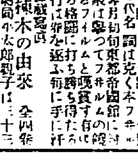
アルサミノール Arsamino

六〇六號（ネオアルサミノールも今回發賣せり）

帝大教授鈴木博士指導の下に當社が製造に着手したるアルサミノールは蝟集滯積せる注文に追はれ、供給の數量之に伴はざりしも今回製造規模を擴大し今や漸く大方醫家の需要を充たし得るに至れり。

本品はエールリツヒ博士と共に六〇六號發見の名譽を擔はれたる秦博士に依りて一々嚴密なる動物試驗を行はれ同博士の證印を得たるものに限り發賣に供するが故に使用上絕對に安全なり。

東京室町 三共株式會社



攝津灘 大塚釀造所吟製

京城本町二丁目 發賣元 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五

くすりは山岸

諸官衙御用達 洋書 藥 卸問屋 醫療及試驗器械

懇切叮嚀、迅速確實、市內配達及び地方通信販賣致居候

京城本町二丁目郵便局前 山岸天佑堂 藥品部 器械部 電話 …

グラス萬年筆

朝鮮總代理店（目錄送呈） 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店 電話…

特約店 京城本町二丁目 …商店

宮本武藏

第十二回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

宮本武藏は行人坂に於て圖らず岸柳を討果し其儘屋敷へ歸らずに芝高輪町葉茶屋渡世吉野屋徳兵衛といふ者の所へ參りました、之は武藏のお父樣の劍術の門弟で至つて篤實な男 武『徳兵衛鳥渡明て貰ひたい、徳兵衛』ドン〱 徳『何だ〱大將もう寢込んで來たぢやアねへか、ニ、もう寢みましたからお客樣なら明日お出を願ひます 武『徳兵衛私だ、鳥渡明て呉れ 徳『煩せへな、今時分になつて茶袋の一個か半分買に來やアがつて、お客樣もねへもんだ何時だと思つて居るんだ 武『徳兵衛何だかグズ〱言つて居るではないか、私だ宮本だ鳥渡明けて呉れ』宮本といふ聲がしたから徳兵衛起上つて店へ出て來た 徳『エ、誰方で在つしやいます』武『宮本武藏だ、仔細あつて夜中に尋ねて參つた』徳『アッどうも之は申譯がございません、宮本の若先生でどうやら申した聲だとは存じましたが』武『少し訳しがあるから明けて呉れ』徳『ヘエ〱只今』ガラ〱と表を開る途端に武藏がスツと這入つて來た

何分三人を斬つて來たのだから髪も亂れ、衣服或は額手などに反り血が懸つて居る、夜中だといふのにそんな風采をして這入て來たから吉野屋徳兵衛アッといふて尻餅を突いた、徳『若先生まア一體どうなすつたんで』武『只今仔細は話すが、何しろ湯でも水でも宜いから貰ひたい』徳『畏まりました』之から徳兵衛が家内の者を起して湯を沸し武藏先生の手足を洗ふ、衣服も汚れて居るから新らしい衣服と著替へさせて奥の一間へ通し 徳『若先生手前も心配でムいます、どうか仔細をお聞かせ下さいますやうに 武『イヤ徳兵衛夜中騒がして甚だ相濟まん、實は其仔細といふのは斯樣々々である』と初めからの一伍一什を落もなく物語る、聞いて驚いた徳兵衛 徳『ヘエー其では今晩其の岸柳と弟子を二人斬つてお終ひになつたので 武『左樣』徳『どうも若先生は大した御技倆でございますな、就ては之から先き、何う遊ばす御了簡で』武『されば拙者の決心した所は肥後の熊本に岸柳の弟子が三千人もあるといふ事、其三千人の門人の中から二十人や三十人は師匠の敵を討たうといつて出て來る者もあるだらうと思ふ、向ふから來るのを待つて居るよりは此方から出向ひて參つて熊本の城下岸柳の道場に於て勝負をしようと思ふ 徳『其れはどうも勇ましい御決心でございます、併し先方は大勢、若先生の技倆でございますから大丈夫とは存じますが、どういふ計略を以て若先生の御身に萬一の事がありましては大變で 武『其は徳兵衛案じるに及ばん、私も宮本武藏ムザ〱死地に飛込むやうな事はしないつもり、併し武運拙なくして一命を失ふとも武道の面目武士の意氣地には易られん、臆病武士と江戸に居て言はれるより、熊本へ乘込んで斬死をする方が立派ではないか、 徳『若先生の御氣性としては御道理でございます 武『其で私も旅の支度をしなければならんが家へ歸ると父にも心配を懸け、妻や舍弟も別れを惜しんで彼是申すと出後れるから此儘出立をしようと思ふ 徳『成程』武『手紙だけ認めるから之を家へ届けて呉れ』ソコで武藏が書面を認ため徳兵衛が使に持たせて宮本の屋敷へ届けました所、早速舍弟の左織といふ方が參りました 左『兄上の御決心を聞になつて父上も御承諾遊ばし旅の用意にといつて下すつた金子手前がお預かり申して參りました、其から之は義姉上から兄上へ著替への衣服、肌著の類道中の御藥、武運長久の御守お預かり申して參りましたから御受取下さるやう、尚後々の儀は心配なく武道の面目武士の本分を立てるやう立派に立合をして呉れといふ父上よりの御言傳でございます』弟の取出した品を押戴いて武藏 武『何から何まで配慮を煩はし申譯もない其方に面會したのは何よりの喜びである、どうか私の居ない後は宜しく頼む、武運に叶ひ立歸れば再び、萬一運拙なくして斬死した節は拙者に代つて父上へ孝行を頼む』と云つて其日は分れ愈々武藏先生江戸表出立の御話

四月二十日九星
舊三月十八日丁亥
本命九紫 南危 友引

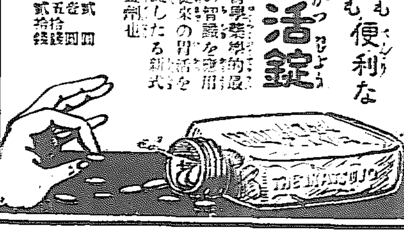
▲九紫● ▲一白● ▲二黑● ▲三碧● 誘込よき日 轉居入學 ▲四綠● ▲五黃● 果報よき日 轉居入學皆吉 ▲六白● ▲七赤● ▲八白● [illegible]

泌尿器病 專門
入院隨意（診察夜九時迄）
腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 横痃 下疳 皮膚病
永樂町二丁目 金光教會隣り
安部醫院 電話一四一九番

製材機械原動機
其他一切付丸鋸共
賃貸又は割安賣却
鑛山機械專門製作
南大門通五丁目 電話一〇四番
中根商會

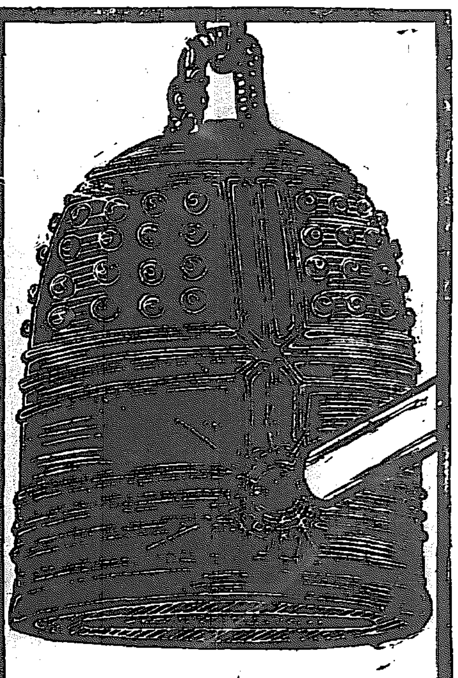
質
京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）
堀佐營業所（電話六三九番）

肺病良劑 金氏煎
本劑は從來の「クレオソート」又は「グアヤコール」系統以外の新製治肺劑にして獨特の殺菌と健胃強壯の作用を有し食慾を増進し發熱を去り咳嗽を鎮め喀痰を去り盜汗を防ぎ[illegible]
東京市下谷區上根岸町
日本製藥研究所


胃活錠
携帯にも服むにも便利な
胃活錠は胃腸藥中の最新の智識を應用し從來の胃活を加減したる新式の錠劑也
定價 貳拾錢 五拾錢 壹圓 貳圓

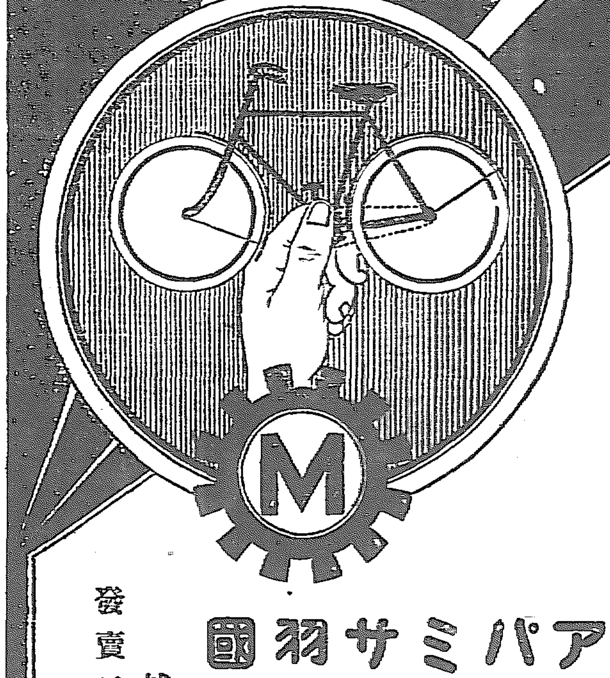
シンガーミシン會社
大邱支部
分店所在（大邱、慶州、安東、金泉、大田、公州）

次亞燐
世に知られたる現代の最良滋養劑！
腦を 血を ますます 健康長壽
賣捌各藥店に
本舖大阪 小西久兵衛


聽け此響！

大學目藥
登録商標
大學目藥だにあらば諸君の家庭より眼病を排除する事を得べし。蓋し現代眼科治療に關する總ての智識は大學目藥の配劑中に蒐められたるを以てなり。

世界の人氣は更に愈々
煉香油に集る
ポマードに
本舖 東京 平尾贊平商店・大阪 平尾贊平支店


經濟的乘用の逸品として常に輪界の好評を博せる宮田製の
アサヒ號
パーソン號
ミスター號
サンライス號
羽衣號
國華號
愛用を推奬す
發賣元 博多古小路町 宮田製作所出張所

京城明治町 瀧川自轉車店
平壤大和町 丸吉商會本店
淸州本町 岡田自轉車店
木浦榮町 村上自轉車店
大邱大和町 双輪商會
仁川本町 河野自轉車店
平壤大和町 宮崎自轉車店
群山全州通 水川自轉車店
太田 瀧川支店
釜山幸町 井上自轉車店
仁川新町 町田自轉車店
平壤南門通 荒木自轉車店
群山全州通 福岡自轉車店
大邱元町 井上自轉車店

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液
今東京で大評判の白美の元素色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる
全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す
東京和泉橋際 ゲンソ液本舖 松本藥店

汽車
京釜線 [illegible]

(一) 大正五年四月十九日 THE KEIJO NIPPO (水曜日) (明治卅八年九月十一日 第三種郵便物認可) (年中無休刊)

京城日報

第三版

京城日報 地方自治制

由來地方自治制なるものは、政論家、爲政者の議論甚だ錯綜なるものに[illegible]てあるときは、[illegible]民國より自治制を以て其の誇りと爲す、未開國民半開國民も共に其れ相當の自治制を有せざるなく、之を人類進步の歷史に稽ふるも、自治制は國家に先ちて發達したるの實跡明白なり。

往年佛國政治家ド、ラネッサン、交趾支那總督に任せられて東京に來り、親しく土人部落に就て其共同生活の狀態を調査し、安南人の如き未開人種と稱せらるゝものにして、其部落團體の自治制の案外に發達せるを見て、愁歎に堪へず。此に地方自治制度を基礎として交趾支那統治方針を定むるに至れり。又佛國宣教師モニールが、支那福建省、浙江省、諸地を歷遊して、到る處の村落に自治自衞の施設甚だ整ふものあるを發見し、支那人民の自存の理由は即ち此隣保相濟ふの美風にありと爲し、英國法律學者メーンは印度の部落生活を研究して、慣習法は家族團體たる村落に於て發達せるものなることを知り得たる等、東洋には自ら東洋の自治制あり、其發達の自然にして且極めて有益なることを證するに足る。

且東洋各地中央政府の施政擧がらず防備警察の施設全からざる處にては、家々人々皆自ら備ふる所以を知つて此に務む、是れ支那印度諸地に於て自治制中自治的警察事務の發達に最も著しきものある所以にして、當年の交趾支那總督ラネッサンが、先づ各部落に其火災及び盜賊を自ら警備することを命じたるが如きは、能く其事情に適合するものと謂ふを得べし。東洋及び東歐羅巴諸地にて、租稅徵收及び戶籍事務を擧げて、自治部落代表者に擔當せしめたるが如きは、固より善政と云ふべからずと雖も、亦其の自然の情形を利用せるものと謂ふを妨げざるなり。

我朝鮮の如きは、若し歐米諸國の政論家操觚者流の所謂自治制を準甚として之を正さば、未だ自治制あらずと云ふの外なし。併しながら家族團體相庇保し隣保伍什相保持するの情況を求むるときは、其の自然の發達亦最も見るに足るものあり。即ち是れ爲政者の取りて以て自ら資くべき所のものにして、此に依りて敎育衞生、火盜警戒の事を興し、其の自然の體條に由りて、其發勢を求むるあらば、爲政者其力を用ふること寡くして、其功を收むること甚だ大なるものあるべし。且古來[illegible]多く[illegible]は其國土の全局を見、及び其個々人々を見て、其權を立つるを是れ務むるも、其中間に存する家族團體部落團體の共同生活の狀態を度外に從き、これが爲めに意外の齟齬扞格を招くことあり。特に地方自治制、民事刑事法規等を制定するものにして、此に心を用ゐざるときは、其退談に陷らざるもの稀れなり。是れ吾人が其調査研究を是れ急とすべしと爲す所以なり。

(十) 咸北の三都會

東拓理事 村田俊彦 (38)

北方の重鎭

清津府よりトロに乘じ西して羅南及び鏡城に達すべく、北して會寧に達すべし。此兩線路は郊外十數町の所に到り分岐す。橋を渡り平野を過ぐる五里弱にして、瓦甍長蛇を横ふるを見る。是即ち羅南にして、彼長蛇は皆兵營なり。此地從來既に幾多の兵鎭あり。今や又師團の所在地とならんとせるは人の知る所の如し。地勢三方丘陵山脈を以て圍まれ、清津に面せる邊開りて稍開く。海に近しと雖も山陰にあるを以て船上より之を望むを得ず。市街は兵營の西に接す、宿街なりと雖も賑はし。

國防費

今此機に於て國防費に關する數額を少しく茲に掲げんかな

明治二十六年度に於ける陸軍省所管の一般會計經費は一千四百七十二萬圓強にして大正四年度に於ては八千六百二十四萬圓強となり。海軍省所管一般會計經費は明治二十六年度に於て八百十萬圓強にして、大正四年度に於ては九千八百四十六萬圓強となれり。是等兩者を合計する時は、明治二十六年度に於て二千二百八十二萬圓強にして、大正四年度に於て一億八千四百七十三萬圓弱なり。之を以て之を示せば、大正四年度のものは、明治二十六年度のものに比し、陸軍省所管に於て五倍八五九餘となり、海軍省所管に於て十二倍一五五八餘となり、此等總計に於て八倍○九四一餘となる。是間或は幣制の相違あり、或は物價の變動あり、從率は以て精密なる比較を爲すに足らざるべしと雖も、其の大勢を窺ふには敢て之を妨げざるべし。國防費と比較せん爲めに今更に一般會計の全體の狀況を見るに、大正四年度のものは明治二十六年度のものに比し歲出に於て六倍七五九餘となり、歲出入總計に於て五倍八四三餘となる之に依て之を見れば、歲出の增加は單り陸海軍のみに非ざると共に、陸海軍のものが、其の多きを占むるを知るべきなり。陸海軍省所管の一般會計總費が、其總歲出に對する割合を見るに、明治二十六年に於て二割七分弱、大正四年度に於て三割二分強なり。以上の統計は明治二十六年度のものは決算に、大正四年度のものは豫算に依る。

世人往々にして國防費は不生產的のものなりと說く。曾て此趣旨により說しく論難せられたることあり。然れども、凡そ經費の生產的不生產的といふことは、事實論にして、用途の科目により別ち得らるべきものにあらず。奢侈の定義を事實問題に歸すると全く同一の趣旨に依らざるべからず。其名殖產興業にありと雖も、亦不生產的の費用あり。假令、軍備に用ひらるゝものと雖も、國家が之が爲めに維持せられ、之か爲に發展せらるゝ時は、即ち生產的の費用なりと云ふことを得べし。或は經費の生產的不生產的の語を以て、單に富を生產する直接行爲の如何を指すものとなすものあり。然れども是未だ盡さゞるなり。經濟の目的物たる富を生產する費用、經濟の目的たる最大多數の最大幸福を獲得せしむる費用は、假令直接生產たる場合と、間接生產たる場合とを問はず皆之を生產費と稱せざるべからず。將來亦列國の形勢に鑑み、巨額の國防費を要するに至るならんと信ず。妄りに不生產的てふ語を以ては、之が支出を排斥すべからざるなり。然れども、國防費は國家必要のものなりとの口實の下に、放恣に流れやすき傾なきにしもあらず。此傾無からしむるやう愼むべきは言を俟たず。國家の經費は民力と相待たざるべからず。民力を枯渇せしむべからず。民力を休養せしむるは民の直接の幸福を增進せしむる基たるのみならず。單に軍事上より見るも、一旦緩急ある場合の軍需の根本を涵養する所以にして、其効軍事費を準備金として蓄へ且之を利殖せしむるに等し。國富民財は悉く非常の際に於て軍事費に振向け得らるゝものなり。國民誰か非常の際に於て國家を忘れ、其財を吝むものあらんや。朝五暮三或は以て朝二暮十と爲し得べきなり。

(前號記事中[illegible]となれるは明治[illegible]の誤植なり)

十九日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

定價 本紙 一部金三錢五厘 一ケ月金六拾錢 ...
廣告料 ...
發行所 京城日報社
印刷人 ...

戰前及戰後の歐州 (七)

法學博士 吉野作造氏講演

▽戰爭の終期 戰爭の終局奈何と云ふ問題は總ての人の興味であるがまだ仲々永くかゝるだらう。突然に始まつた戰爭だから突然に終熄するだらうと云ふ人もあるが、恐ら永くかゝるだらうと思はれる。一體今度の戰爭はなかなか大戰爭だから、双方共軍器軍需品の供給が全線に向つて洽く充分に行渡り兼ねる。隨て全戰か一時に戰ふと云ふ譯に行ぬ。一局部で戰てゐると他の一局部では休戰して居なくてはならない。昔しの戰爭では一度戰つて其れで決戰と云ふ結果にも爲つたが、今日の戰爭は仲々さうは行かぬ。昔は敵の容子など擬張り分らないで、無我夢中に戰つたものだ。隨つて萬一の僥倖が敵を顚滅潰走せしめる樣な事もあつた。併し今日の樣に敵の偵察がよく行屆く樣に爲つて見ると、仲々さうは行かない。之には飛行機の發達が非常に影響して來た。

▽飛行機の軍事的價値 一には偵察、二には爆彈投下である。爆彈投下は怎も餘りいゝ成績が擧らない。的確を期する爲めに低空飛行をやれば、機體が危險だし、夥ひ高空から投下しなければならなくなる。然るに物理學の原則として空中から投下した一物質は一定の地點以外には落ちないのだから、仲々爆彈投下の實が擧がらない譯である。恐くて飛行機は主として偵察用として用ゐられ、其爲めに偵察が非常によく出來る樣になつて來た。敵の樣子が上く解つて味方より強勢の時には戰はずして退く。然るに英佛軍にはよくそんな事がある。然るに敵の容子が充分に知れなかつたり、味方と味方との聯絡が充分にとれてゐなかつたりすると、味方の一隊は退却してゐるのに、其れを知らないで自分の隊許り行進して居て、不意に強勢の敵に遭遇し止むを得ず捕虜となる、悲慘例がよく露軍にある。今度の戰爭では露軍が一番敵狀偵察が行屆いてない樣だ

▽終局の豫想 獨軍は比較的各方面で勝つてる。然し獨逸は勝では勝つ程困難は增して來る。要するに双方共に困難である。從て大體に於て此戰爭は容易に片付かぬ。容易に片付かぬとなれば持久戰となる。さうなれば持久戰を目的とする聯合軍に利で同盟軍に不利となる。其程度が四分六となるか其れとも八分二分、七分三分となるかは不明だが、最後に於て同盟軍側が負ける方に廻ると見るが怎も至當ではないかと思はれる。

▽軍國主義の前途 海上に於ける英國の勢力が今日の如く強大であれば、陸上で獨が如何に勝つとも仕方が無い。今日歐洲戰爭を大觀して獨逸側に七分の勝味があると言ふ者もあるが、其れは海を見ない人の言分で、海陸綜合すれば五分五分にも至つてゐない。然して結局は獨逸が負けるものと認めるが、さらばとて全然獨逸を叩き潰す事は出來まい即ち何の程度で終了するものかを考へなければ戰後の事を云々する事は出來ない。今日分つてゐる材料からは推測するに戰後に於いて軍國主義的設備は益々盛んとなり、之れと相對して平和的設備も亦盛んとなり、兩者相伴はぬ如くして然も兩々相並び行はれるだらうと思ふ。恰も之れ悪辣なる殺人犯と嚴重なる豫防策とが兩存する樣なものだ。即ち獨逸の軍國主義は英國の發言する如く容易に壓迫する事は出來ないであらう。

▽軍國主義の徹底 元來獨逸の軍國主義なるものは單にビスマークが定めた制度のみに依つて一朝一夕に出來上つたものでは無くて別に深い根柢がある。第一に皇室が代々豪い。今日歐洲列強の元首皆豪い方許りだが、其の中で獨帝は斬然として居る。然も數百年來歷代名君揃ひで凡庸の君主がゐない。昔王國と爲つて二百何十年十何代のホーヘンツオルレルン家中豪い方許りだフレデリック三世、ウイリヤム一世乃至現皇太子や其同胞など總て平民としても豪い。現帝は言はずもがなである。人民も蔭では悪口を言ひ乍らく皇帝の眼前に出ると思はず帽を取て萬歲を叫ぶ。獨逸國民は英雄崇拜だと云ふが、崇拜すべき英雄を持てゐるから崇拜するのだ。隨て其命令がよく人民に行はれるのだ。次に貴族が豪い。師團長や軍團長に昔の大名がなる。彼等は一箇の平民としても豪いのに其れが其地方に長となつて軍團や師團に臨むので軍隊での命令がよく行はれる。總ての社會に於てさうだが道德的に敎養せられた社會的上流階級者が上に立てば下流はよく服從するものだ。殊に軍隊に於ては尚更の事である。政治の事には種々反感を抱いてゐる者もあり批難もあるが、實際はよく治まつてゐる英國もさうだが獨逸は殊にさうだ、更に家庭が健全で單に貴族のみならず社會の根柢を組織してゐる。下流社會即ち農民などの家庭を見るに皆確かりしたものだ。彼等の社會制度は牧師と敎師とが非常に尊敬され、小自治制で敎師は村役場の書記を兼務してゐる。其れで非常によく自治が行はれる。巡査と敎育とで社會を制へてゐるからなのだ。巡査なども[illegible]やしない。義務の事など牧師が大抵片付けてしまふ。例へば道の眞中で喧嘩してる者があつて側から「ソラ牧師が來た」と云ふとすぐ喧嘩をやめて終ふ。其れ程に牧師に重きを置かれてゐる。更に又敎師が重視されてゐて、日本など異つて見込さへあればドシ〳〵月給も上げるし待遇もよくしてやる。隨つて社會上の位置もいゝから社會に對しての重みもつく。獨逸の社會狀況を說くに工業盛、農疲と稱する者もあるが、農村の疲弊と言つても到底も日本の樣に甚い事はない。如何に饑饉だと言つて農民が飯の食なくなる樣な事はありやしない。

即ち獨逸の軍國主義は恁の如く見事な背景を有し、然も指揮者に豪い君主と貴族とを持つてゐる爲めに、容易に打破される樣な事はない。即ち戰後にかて獨帝が國際關係上軍國主義を止めるとでも言へば兎も角も今の儘で戰爭が終つたとすれば戰後には獨逸の軍國主義は益々勃興すると見ていゝであらう。

日報歌壇

□片輪娘 京城 葉子

人形を上手に結ひし故鄕のかのかたわ娘今も忘れず

椿の葉四角に切りて膳にすること敎へしかのかたわ娘

縮竹を折りて箸など作りたる十歲の裏のかのしめり庭

□幽靈部屋 同人

古風なる祖母のもの言ひ今も悔いと和かに耳にのこれり

物の化の出づるがの大き裏部室のかの長持に抱きゐし恐怖

かの祖母も今は世になしかの屋敷畑となりて麥生ふといふ

大阪三品 大阪米穀 東京期米 大阪株式

大阪期米特電 (十七日) 九月限 ...

仁川米豆取引所 ...

▲時期の問題 ...

出來高 四千五百石 ...

◎小學校卒業生の講習に最も適切なる中學講義錄◎新入會者既に四萬人に達せり◎

學制改革 學年短縮

卒業期を一ケ年半に短縮し講義錄全部を根本より改版刷新せり 第一號四月一日發行

大日本國民中學會

講義錄規則書見本付き申込次第進呈 ■ 名譽會長 尾崎行雄 ■ 入會の絶好機は今日なり

第廿五回新學期開講 此際入會者に對し各種の大特典を提供す

東京神田駿河臺袋町十六番地 大日本國民中學會 (電本三〇〇二・三七〇七・三〇〇四) 振替東京四二〇〇番

▼滿鮮に曾て例なき最も嶄新奇拔なる空袋引換

▲引換區域 京城龍山仁川三市內に限

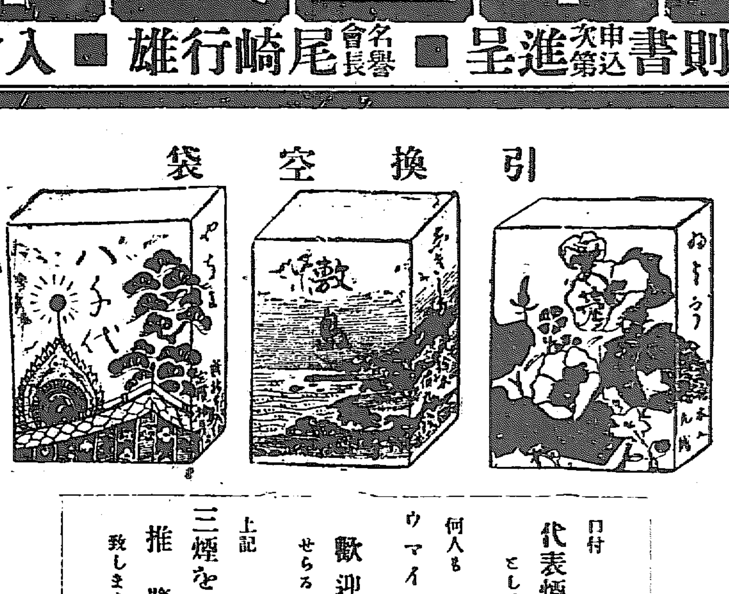
▲引換期間 當分の間引換致します

■左記何れの空袋にても二十枚御持參の方には抽籤番號を貼付したる敷島一包を差上ます

■之れが一千包に達する毎に抽籤の上左記の景品を御渡し致します

■但し引換空袋には朝鮮の封緘紙貼用のものに限ります

引換空袋



日付 代表煙として 何人もウマイと歡迎せらるゝ 上記三煙を推奬致します

景品種目

▲一等	錦帶	一本	一本
▲二等	小形化粧道具	一個	二本
▲三等	置時計	一個	十本
▲四等	ニッケルマッチ入	一個	十五本
▲五等	マッチ	一包	九三七本

▲御注意 引換場所 京城明治町 東亞煙草販賣所 抽籤は豫定抽籤券一千枚に達する毎に豫め新聞に廣告して發表致しますから精々御持參御引換の上景品御受取を願ひます

大正四年四月 京城 東亞煙草株式會社

▼三代表煙愛用家の特權 幸運者は何方でしようか

軍旗親授式と勅語（東京特電）

新設第十九師團所屬各部隊の軍旗親授式は既報の如く十八日午前十時三十分宮中正殿に於て御執行ありたるが右終つて　天皇陛下には左の勅語を大島陸相に賜はりたり

勅語

步兵第七十三聯隊ノ爲軍旗一旒ヲ授ク爾軍人等協心同力シテ益々威武ヲ宣揚シ以テ國家ヲ保護セヨ

奉天軍諸將の密議

奉天軍の諸將及び革命黨の有力者約二十名十八日商務總會に集合し密議を凝らせる結果は猶秘密に附せられ居るも奉天省の局外中立を決議せるが如し此の會議に段芝貴系のものを加入せしめざるは注目に値すべし（奉天特電）

濟南の流言飛語

市中の取引休止人心安んぜず

在濟南林領事發十八日外務省着電に據れば近來同地には革命に關する流言蜚語頻りに起り人心安んせず市中に於ける大取引は殆んど休止同樣にして銀貨の騰貴に拘らず綿絲綿布砂糖等入貨物の卸賣れ行き全く絶え問屋は輸出貨物の搬出にのみ焦慮し居る狀態なり（東京特電）

露軍陣地占領と追擊

露軍は小亞細亞沿岸のサーメネクを占領せり尚露軍は退却中の土軍を追擊してトレビゾンド東方十二哩にあるセネケレシ村落に到着せり（露都電報）

三艦下命を待つ

上海碇泊中の帝國の三軍艦は一切の武裝を整へ命令一下を待ちつゝあり（上海電報）

共進會へ令旨

閑院宮殿下には十八日擧行されし臺灣勸業共進會開會式に台臨左の令旨を賜はりたり（臺北特派員電報）

令旨

茲ニ共進會開場ニ際シ、命ヲ奉シテ來リ臨ミ、總督及ヒ諸員ト相見ルヲ欣フ、惟フニ本島ノ我カ版圖ニ歸セシヨリ既ニ二十餘年制度ヲ改善シ蕃人ヲ處理シ鐵路港灣ノ修築教育衛生ノ普及ニ至ル迄、府治ノ功績頗ル顯著ニシテ殊ニ殖產興業ノ進步、最モ見ルベキモノアリ今總督斯ノ會ヲ開キ全島ノ物產ヲ集蒐陳列シ觀覧者ヲシテ其ノ經濟狀態ヲ周知セシメ內ハ以テ產業ノ改良ヲ圖リ外ハ以テ交通貿易ノ發展ニ資セントス、其効果ヲ將來ニ收ムルノ大ナルハ疑ハザル所ナリ歸京復命ノ日必ズ當ニ斯ノ會ノ狀況ヲ具陳シ併セテ府治ノ成績ニ及ブベシ若シ夫レ督勵誘導シ倍々府治ノ擴大ヲ計ルコトハ更ニ督府ノ努力ニ俟タントス

山公經過良好

山縣公の病氣は經過良好にして昨今病床に在りて書畫類を樂む迄の程度に恢復したり（東京電報）

▲獨墺……

●奉天より

……爾河金鑛局員は同地附近に宏利金鑛なる新金鑛を發見し有望なるを以て解凍をまち六七千人の工夫を招募……

政務總監入京

山縣政務總監は十八日午前入京老公病氣見舞挨拶の爲め大隈首相を官邸に訪ひ種々會談する所あり（東京特電）

昌德宮午餐會

李王殿下には十八日正午警務部長會議に列席せる古海警務總長各道警務部長山形憲兵大佐各課長等三十餘名を招待せられ閔長官小宮次官以下陪席にて鄭重なる饗應ありたり

恩賜事業の普及的發展

京畿道本年の豫算

京畿道臨時恩賜金事業の本年度豫算は四月十七日其筋より認可ありたるが從來授產事業の創始當時に於ては產業に關する技能の養成に重きを置き京城及び郡部恩賜授產場を設け講習生十四年以來五箇年間に於て講習生千五百三十三名を養成し別に勸業模範場所屬農林學校に囑託して教習せしめたる農業實習員百十一名合計一千六百四十四名の多きに達し是等修了者の大部分は其の習得したる農蠶業に從事し地方產業の先覺者となり著々其成績を收め今や人物の養成は稍其の當初の目的を達したるを以て此際京城恩賜授產機業場及び同製絲場を存する外郡部の開城、水原、漣川、金谷の各恩賜授產場は之を廢止し該場に充てたる資金を以て今後は更に一層普及的に產業の開發獎勵に力め其の恩澤の範圍を廣め現實なる生產改良增加の途を講せんが爲其事業及び經理方法を改正せんとするものなりと其事業の主なるものは授產事業にありては製絲、機業及び蠶種製造所を京城に設けて製造者を養成する外產業の補助獎勵としては採種田畑、甘藷苗養成、稻扱傳習、筵叺製造、農事講習、私設共同飼育、桑苗種の共同購入其他に補助を與へ教育事業としては公立普通學校及び私立京城幼稚園等に對する補助等なりと豫算額左の如し

歲入の部

第一款	臨時恩賜金收入	十三萬三千五百三十二圓
第二款	雜收入	九萬五千二十六圓
第三款	前年度繰越金	十萬二千三百二十九圓
合計		三十三萬八百八十七圓

歲出の部

第一款	授產費	十七萬五千七百四圓
第二款	教育補助費	三萬九千六百六十八圓
第三款	凶歉救濟費	二萬六千四百四十五圓
第四款	基金繰入金	五萬九千五百二圓
第五款	恩賜金取扱費	九百圓
第六款	雜支出	一千五百六十九圓
第七款	豫備費	二萬七千九十九圓
合計		三十三萬八百八十七圓

地方費豫算（京畿道）

京畿道大正五年度地方費豫算は此程總督府より認可あり同豫算は歲入に於ては前年度に比し一萬八千餘圓を增加右は戰亂の影響にて屠牛數の數を增加し之が經營の增加せる爲にて又歲出にありては優良蠶種普及のため京城に於て蠶種の製造所を設くると巡回教師の數を農業蠶業畜產を通じて六十名に增加したると依れり豫算額左の如し

一、歲入經常部

第一款	賦課金	十七萬六千七十三圓
第二款	雜收入	二千七百七十二圓
計		十七萬八千八百四十五圓

一、歲入臨時部

第一款	繰越金	五萬七千六百二十四圓
第二款	國庫補助金	十五萬二千八百八十六圓
第三款	寄附金	七十圓
第四款	雜收入	八百三圓
合計		二十一萬一千三百八十三圓
總計		三十九萬二百二十八圓

一、歲出經常部

第一款	土木費	六萬五百五十四圓
第二款	衞生費	五千五百七十圓
第三款	救恤費	千七百六十一圓
第四款	勸業費	五萬七千四百十三圓
第五款	教育費	一萬八千五百五十二圓
第六款	接待金	二百圓
第七款	地方費取扱費	一萬二千二百廿七圓
第八款	豫備費	九千四百九十三圓
計		十六萬六千七百七十一圓

一、歲出臨時部

第一款	土木費	三萬八千六百圓
第二款	勸業費	九千四百五圓
第三款	補助獎勵費	十七萬五千二百二圓
第四款	雜支出	二百五十圓
合計		二十二萬三千四百五十七圓
總計		三十九萬二百二十八圓

家庭工業獎勵

懸賞にて意見を募る

京城商業會議所は既報の如く京城に於ける商工業發達の一助として先づ家庭工業の調査を行ひ最近の調査にかゝる京城六萬人の無職業者に職業を與ふるは勿論更に進んで一般家庭に內職的の工業を與へんとし內々調査方法に就て研究の歩を進めつゝありしが愈々近く其の成案を公表して一般に意見を徵することゝなれり其內容は家庭工業獎勵案を總額百五十圓の懸賞法により募集し賞金を一等百圓二等三十圓三等二十圓に別ち其の調查の條件としては（一）原料は容易に朝鮮內の生產品中より得られ（二）加工の方法も亦何人と雖も容易に家庭內にありて小資本を以て製造を行ふことを得（三）其製造品に販路極めて廣大なるもの等を必要の條件とし且つ其の家庭工業獎勵案は直ちに實行し得らるゝ實際的のものたるを要し原料、製品及び一人の所得、年產額、販路其金額等は全部數字的なるを歡迎すとのことなり以上の答案は六月三十日限り京城商業會議所に提出し會議所は直ちに有力なる官民の立會を求めて審查を行ひ當選者には大なる賞金を授與すると共に一面直ちに當選案に基き普及獎勵の方法を講ずべしと尚ほ數日中に會議所よりも一般に公示する筈なり

沿岸航路と荷動

最近朝鮮沿岸の荷動き狀況を聞くに既に夏物入荷期に入れるも未だビール等の運著少なく亦漁期にも一二箇月早き爲め一般殷盛とは稱し難きも追々農耕期に入れる爲め露領沿海州產鯖鰊の鮮內各地及び內地に輸入せらるゝもの少なからず各社船の補助航路復航は之れが爲め船腹不足を感ずる位なりと

仁川最近金融

沈滯不振の狀況を持續せる穀物市場は三月に入りても何等の變化なく只定期取引に於て當月渡の取組五萬石內外あり強弱相對時して讓るなく月央約半數の解合を見たりしも相場現物に比し逆鞘を示すこと少なからず爲めに手持正米筋の賣際を爲すものあるに至り

▲多少資金の移動を生したる折柄阪地期米の反撥的騰貴ありて正米市場を刺戟したる結果神力玄米は僅かに十一圓二三十錢前後に騰貴して取引活況を呈し精米の賣契約等も相當あり之れが原料買付も加はりて暫時市場を賑はしたるも極めて少時にして又々舊狀に復したる爲め此方面資金の需要逐に見るべきものなかりしに反し輸移入市場は諸物價の次第に騰貴を告げて殆んど停止する所を知らず爲めに春物必要口の外見越輸入相當ありて是等多くは地方客筋に依りて大部分を消化せられしも市場推貨亦少なからず關係商人は之れが

▲資金調達の爲め に手許金繰は稍繁忙を呈したり要之市場商勢は依然一般的に頭重の商狀を脫するに至らず從て季節商品仕入資金の需要の外は特記すべき程の事なく沈靜裡に三月を終り貿易の如きも輸移出四十二萬圓輸移入百六十九萬圓にして前月に比し前者は六萬圓を減じ後者は四十一萬圓を增加したるも市內各銀行の預金貸出の月末現在高は預金二百廿萬圓にして前月に比し十一萬圓を增加したるは主として定期市場の建米取引資金の預入ありたるによるものゝ如く貸出は三百三十九萬圓にして前月に比し一萬餘圓を增加せるのみなりし

……樣なるは畢竟兩者の意志疏通せざるにありとし官吏、紳士各縣の參議及び地方有力者を集めて行政會議を組織せしが右……

▲支那鹽稅近況

鹽稅剩餘拂……民間並に關し端なく中外の注意を惹……

一月	五、一七〇、〇〇〇
二月	五〇、三九〇、〇〇〇
三月	六、三〇三、〇〇〇
計	一七、三八四、〇〇〇

……にして……司例で比すれば……

古海總長招宴

古海警務總長は十八日午後七時各官署軍隊文武官を朝鮮ホテルに招待し新任披露の宴を催したるが盛會也き

各警務部長歸任期

會議の爲め東上中なる各道警務部長は二十日午前八時五十分歸京の警務總長立花中將を迎へ歸任に關する挨拶を爲したる上二十一日頃より歸任すべし

京城市區改正著手

大正五年度の計畫に屬する京城市區改正工事中朝鮮銀行先より鍾路に至る區間の路面改修及び人道舖石は四月下旬より愈々工事に著手すべしと

朝鮮醫師試驗

今期の朝鮮醫師試驗は二十日より總督府醫院傍內京城醫學專門學校に於て施行さる可し受驗總員二十七名あり內々地人十六人朝鮮人十一人なりと而して其の試驗日割（學術）を聞くに左の如し

▲第一部
▲午前十時より正午▲午後一時より同三時迄
二十日　午前物理學午後化學
二十一日　午前解剖學午後生理學

▲第二部
二十五日　午前病理學午後藥物學
二十六日　午前外科學午後內科學

▲第三部
二十九日　午前眼科學午後婦人科學產科學
五月一日　午前衞生學

▲第四部
（臨床試驗）日時割は學說試驗成績發表と同時に定む可し

大阪より

大阪支局にて　青坂生

▲時局の影響にて砲兵工廠を初め其他の工業會社も多くの職工を雇入れて晝夜兼行、從て賃金も割合に宜く然も米價は安し、今年は勞働者の當り歲、其の反對に大百姓は苦桑に難

▲最近大阪府の調査によれば職工總數十一萬五千九百二十六人時局前に比し一萬六千三百四十三人の增加、事業二十三種中著しく增減したるものは製煉、鐵工、造船、硝子、莫大小、紡績の七種目。

▲富豪渡邊治右衞門君を昇いで五十萬圓の資本金にて大阪洗濯會社を創立せんと企つるものあり、尼ケ崎に工場を置き大阪市內の同業者をへコまさんとすと、寧ろ大阪市の大洗濯をやつて欲しい。

▲北濱銀行は今期何程かの配當をなすべしと傳ふ、缺損見積りの土地が生き返り、其面大軌鬼怒川などの持株も息を吹き返せるに因れりと、今迄に信じ難きも、噂のみにても景氣よし、近來は半死會社の復活期とも云ふべく、半死株專門の買手振もあり時局は一部事業界の蘇生劑

▲天王寺勸業館に開催中の貿易博覽會は內容甚だ豐富、通俗的に興味を惹かんとする苦心の跡歷々たり、殊に美術館の參考品や活動寫眞室の各種製造工業に關する映寫など面白き趣向のもの多し、各地商業會議所出陳の貿易品輸出入の表は繪畫的の圖案により示され、大阪のそれは花笠を持てる美人の立姿、史料室には安南交趾阿蘭陀交通古文書、桑博兵りの大阪城及び築港の模型もあり、世界一目室と云ひ數十疊の大地圖の上に貨物滿載の船を置いて各國風俗產業の狀況を示したるなど意匠見るべきもの多々あり

道長官歷訪

□產物の指折は米と豆と鑛物

趙黃海道長官談

▲不知火旅館の奧の間にフロツク姿で端然と坐つた上品な趙黃海道長官。可なり自由な內地語で語る『黃海道の產物は米と豆と鑛物が主です、米は八萬町の水田から百萬石以上を產する、鎮南浦米と云つて出る米は九割以上、私の管內の產米ですよ、仁川にも可なり行く

▲改良米種は日の出、豆は地種の良いのを選んでゐる、何れも作付面積の約一割方普及した、鑛產は金及び鐵で恐らく其の金高は全道第一位でせう、八幡製鐵所用鐵の幾割かと黃海道より出るのは愉快です

▲山野は三南地方に比べると餘程青く、生色がある、然も其上に東拓や三井や大倉組の大規模な植林が年々素晴らしい面積に行はれてゐる、道の苗圃生產樹苗や種子の下附で一般の植林思想を旺んならしむる事も決して怠つてはゐませぬ

▲之れから盛夏まで南方より上つて來る內地人の漁業者が延平島を中心として盛んに活動します、ニベ、グチ鯛を主とし彼等が一年に內地に送る金高は三十萬圓を下りませぬ唯朝鮮人の漁撈法は幼稚だから其の改良も忽に出來ぬと思つてゐる』

……五百五十萬元の拂戾方を銀行團に指圖せしは則ち此金額中よりせるものなり……

海の五日間

氣駕義次

◇八日　華南航路香港丸中　正午神戶解纜の大阪商船香港丸にて臺灣行の途に上る、春日和風、海上安穩、淡路島を指呼の間に望む頃より甲板上千客萬來、日落ちんとして兩岸の景勝谷風致た極へ來る。◇九日　午前七時門司著、商船會社の好意に依り別仕立の小蒸汽艇にて小門の瀬を探り下の關の鯛ちりに舌鼓を打つて再び乘船、此地より小倉の松原英太郎氏神戶博士等新たに加はり一行一層の滿員の盛況也、夜サルーンに於て送迎會の催あり、興行師の博多仁和加、ボーイ君の落語、浪花節など興を添へて盡きず。◇十日　午前零時五島附近を過ぐる頃より揚子江沿岸に起れる低氣壓の余波を受け船體の動搖甚だし、此日三食を通じて食堂に顏を見せたるは馬越恭平翁外僅かに四五名あるのみ、面會會中止。◇十一日　大霧晴朗、餘波揚らず、一同元氣恢復、大橋新太郎、朝吹常吉、鍵田博士等の大坊ちやん連入り代り立ち代りデッキビリヤードに餘念なし、正午事務長の好意にて甲板に牛鍋會を開き、前日の腹癒せに痛飲馬食を逞うす、……（十二日）

南言北語

近來は內地でも朝鮮でも滿洲でも書道研究者が非常に多くなつた▲某氏が內閣諸公の臨池趣味の下馬評に曰く▲大隈首相は別物として先づ河野磐州、箕浦青州、大島蘇谷、高田早峰、尾崎愕堂、武富辰堂、一木槐舟と云ふ順序だ相な▲書道と云へば犬養木堂君の氣焰が面白い▲書は手で書く者で無い面の皮で書くのだ面の皮が薄くて右顧左眄して居ては人眞似の字に終る乃公は巧いぞと云ふ腹で筆を下さなくては異の字は出來ぬと▲斯云ふ理屈で行くと名士中には面の皮の厚い連中が多い▲殊に斯く云ふ木堂君も面の皮が厚いに違ひないから面白い▲と云つて今更驚く譯では決してない▲尾崎法相が原總裁の前を張つて九州黨勢擴張漫遊中の作と云ふのは斯うだ▲蹇々匆未答聖明、日暮途遠太關情、身在臺閣任獻替、夢馳江湖欲逃名、海內風雲寐寤起、五州從盟徒紛更、同學少年多貴士、佐命元勳尙監榮、傳家寶刀托何處、百年百計徒書生、莫哀山莊公餘日、偏愛鶺鴒和泉聲▲最一とつ上院の鬪將仲小路廉君は何事にも非常の凝り屋で昨今は專ら詩作に耽溺して居る相な▲其の近什と云ふのを一とつ▲吟歌諷詠豈徒爾、滿胸磊勃託竹枝、少女不識英雄餓、無心諷來揆下詩▲米國の一新聞は日本の獨領南洋諸島占領を以てガム島を危くするものだから米政府は日本へ抗議を申込む筈だなんて吹いて居る▲日本政府が最初該島占領の當時米國大使館附一武官は眼の色を變へて我海軍省に飛び込み▲占領は事實か、占領して何うするとた狼狽の質問をやつた▲其處で應接した我海軍士官が悠々と▲何うもしない、其が戰爭だ、と云つてやると米國武官は二の句が續げず『へーと云つて引下がつた事もあつた▲幾何言はねが損の國風でも餘りのおせつかいは廢して貰ひませう

……り大體の規模は……省の荒蕪地より千三百餘畝を選擇し數區に分ちて經營する……

……旅館止宿須崎七之助（一九）は四月十二日午前十一時頃京城南大門驛構內に……持ち來りて放置せんとして捕はる

●暴風警報（四月十八日午後三時仁川觀測所發）……

無代進呈　分類書籍總目錄　三十頁
◎往復はがき又は二錢切手封入に限り送呈す　大阪……

「ダリヤ」と「カンナ」
本園のダリヤは既に定評あり
ダリヤとカンナの種類の豊富なること栽培段別の多きは半島第一位なり其他蔬菜、草花種子、果樹、殖林苗木等定價表無代進呈す
京釜線鳥致院　朝鮮興農園
電話鳥致院二七番　振替京城三二七番

碁界の快著　キッドも上達する
森田幸次郎先生苦心の快著
初段に廿五子以上五六子を置く位の處に此上もなき虎之卷
圍碁速成圖解　圍碁速成圖解二編　圍碁速成圖解三編　圍碁速成圖解四編　圍碁石立圖解　圍碁の手筋　互先石立圖解　互先の手筋　互先定石圖解　圍碁初學全書　圍碁速成新法　圍碁手ほどき　圍碁速成圖解
一度手にせば必ず八ハアーなる程と感歎と同時に上達受合
大阪　山本文友堂

內科胃腸病　石川醫院
京城本町一丁目　石川淳夫
診察夜九時迄　電話專用二七二九番

京城本町　シイサ
鑛山用測量器諸器械

鐵ト浪平板
直輸入卸商　㊝福田又京城支店
京城府南大門通り三丁目
電話一二二番振替京城二九二番
◎毎月商報發行致居り候條御一報次第御郵送可申上候

日韓書房
新版報告
乙竹岩造著　近刊教育の進步　定價二圓五十錢 送料十二錢
矢崎亥八著　入養代用自家製造肥料法　定價九十五錢 送料十錢
渡邊霞亭著　楠正成　定價一圓八十錢 送料十錢
南日恒太郎著　英文和譯法　定價八十錢 送料六錢
鈴木大拙著　禪の立場から　定價八十錢 送料六錢
京城本町二丁目　電話二二一・五　振替口座一四〇七五

內科小兒科　皮膚病花柳病
京城日出小學校前　入院隨意
多々見醫院
院主 醫學得業士 多々見五郎
電話九四〇番

各種の調帶に卓越せる總ての特徵を具有す
於日本產業博覽會金牌受領
御一報次第定價表及見本送呈可仕候
大阪市西區靱北通一丁目
羽田調帶製造所
大阪支店
電話土佐堀一六一七・九三四八番　振替貯金大阪二九六九

◎朝鮮人は決して侮らるべき民では無い——財部海軍中將談

旅順要港部司令官財部海軍中將は十六日夜入京十七日全一日を市中見物に費し愈よ十八日朝京義線にて北行したり十七日夜朝鮮ホテルの晩餐中かなる大廳にて京城高等普通學校長岡元輔氏と快談中頻りに朝鮮子弟の教育に關する意見などを語つて居つた

私は去る明治四十一年京城に來たことがある。當時私は宗谷艦長——遣同露西亞に返した——として故伊藤統監の李王世嗣を迎ふるの警護の任に當つたのだが今日の變化を見ると實に驚嘆に値する程である。私は本年一月以來の病氣が非常に快くなつたので此度旅順へ歸る途中も

努めて晝の旅行

を試み親しく朝鮮及び滿洲内地の視察を遂げることにしたのである。京城は僅の一泊で過ぎる豫定のところ森海軍少將にすゝめられてたうとう十七日一日を朝鮮學校並びに李王職博物館、總督府博物館等の見物に費したのであるが其の何れの方面にも感服の外はなかつた。殊に朝鮮人の子弟を教育するのはわれ／＼内地人に最も近く最も親しい同種の新同胞を啓發するものであるから將來

非常に頼母しい

事と思ふ。現に琉球の如きも維新前後に於けるわが内地との關係は今の朝鮮よりまだむつかしい所だつたが現今では殆んど内地人と何等の相異もなく殊に那覇出身の海軍中佐漢那憲和氏の如きはわが海軍に於ける俊才として品性技術共に優れたる好士官であるが同地の人は此の人を以てその土地の誇りとし且つ後輩の手本として居る——それで

朝鮮人子弟の如き

も、將來はわが琉球の人々と同じ事になるだらうと思ふ。また私の驚いたことは博物館の陳列品を通して見たるに朝鮮古代の文化である朝鮮が遠き三國時代あたりから立派な文明を有つて居つたことは豫て書物などで讀むで居たことであつたが今、眼のあたり佛像彫刻品乃至は活字、文献の如きものを見るに及んでは今更ながら驚かざるを得ないのである。朝鮮人は決して侮られる可き民ではない、斯の如き

古き文化の淵源

を有して居る國民であるから今に新政の恩澤によつて立派なものになるであらうと思はれる。殊つて世界の大勢を見ると歐洲の戰亂は未だに繼續されつゝあるがわれ／＼日本人は決して一刻の油斷も能きたものではない、今日或る強硬な論者はわが日本が隣邦に對しても思ふ存分の事をやる可き秋であると頻りに不遜な言辭を弄して居るけれども日本は何處までも正義を楯として

世界の各國と交誼

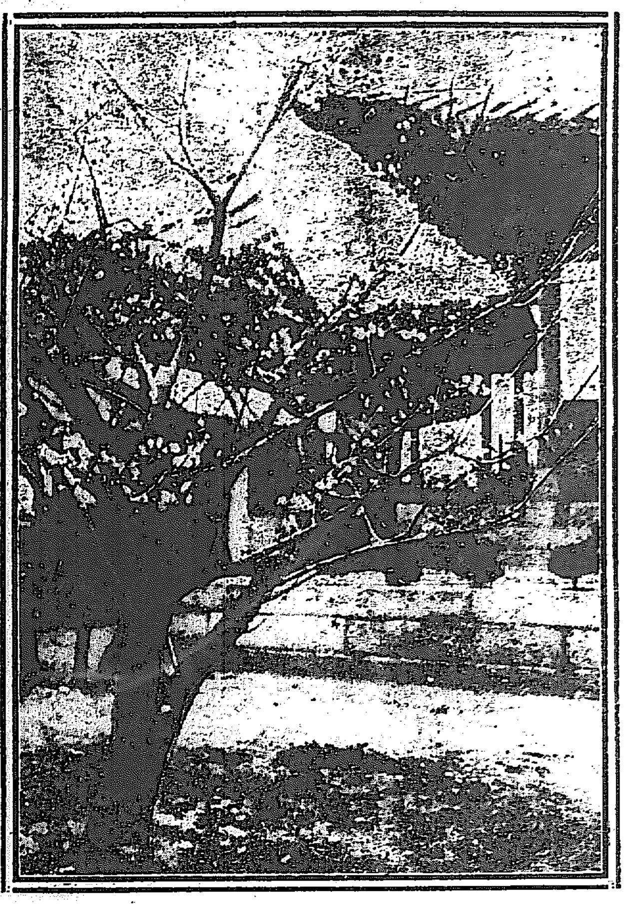
を結ばねばならぬ、若し今の歐洲戰亂が跋つた後歐洲の強國が相携へて東洋に迫つた時はわが日本の立場は何うであらうか、今わが國に陸軍を以て向ふのは獨り露西亞あるのみなれど海軍を以つて日本を攻むるのは世界の何處からでも可能なる事である。殊に今日では丁抹の一商船すらも途中に何等のコーリング、ステーションを有たずして自由に上海あたりまで直航して來る時代である。私は不祥の言を好まぬが若し

日本の制海權を

他國に奪はれたら何うするであらうか、縱令敵が日本内地に一指を染めざるまでも貿易が遮斷されたら恐らく日本人は饑死しなければなるまい、今や日本は左に英國と握手し右に露國と相結んで居るから好いやうなものゝ國民は一日も努力を忘つてはならぬ。外國の識者は言へた——日本は今や歷史上の最も危機に在りと——亦以て大に

味はふべき事では

ないか。次にまた日本が南方に發展するといふとも將來日本に與へられる使命であらう、臺灣の如き富有なる土地で儲けた金を朝鮮滿洲の開發に投ずるのは正にわれ／＼の任務である。



杏の花 ——京畿道廳内宣化堂——

◎續々不正漁船を捕拿す

▲慶北甘浦附近の警戒 慶尙北道甘浦附近には客月來濃厚なる鯖群ありて海岸近くへ押し寄せ來れるを以て例の不正漁業者は對州方面より續々渡航し來り既に之等

▲不正漁船は百隻 に垂んとする有樣にて其の跋扈甚だしく正當漁業者の被害尠からざるに依り朝鮮水產組合にては十一日未明巡邏船江渡丸を同方面に出動せしめ警戒中十二日甘浦沖合にて行動不審の漁船二組（一組は二隻宛）を發見し直ちに捕獲し甘浦駐在巡査へ引渡したるが一組は犯罪を自白し一組は引續き訊問中なり又十三日午前中又も甘浦沖合に出動し一隻を捕獲したる後更に一組（二隻）の不正漁船を發見し之を追尾して甘浦より約南方一里の處にて乘組員は上陸逃走せし漁船を捕獲し更に甘浦に引返し午後九龍浦に向ふ途中にて

▲更に二隻を檢擧 し其の乘組員の訊に依れば不正漁業者は益々巧妙の行動を採り神出鬼沒にして容易に其の蹤跡を發見し難く石油發動機船其の他の母船は勿論料理屋業者等と氣脈を通じ居るもの、如く漁獲物の如きは沖合にて直に母船に移し漁船内に置かずダイナマイトの如きも容易に發見する事能はず打瀬網漁船にも不正漁業に從事するものありと

□交際上手の臺灣婦人 異つた人情風俗

内地では春闌に櫻花爛漫たる今日此頃、遠く臺灣の首都臺北にては去る十日から、愈々臺灣始政滿二十週年の記念共進會が開催されて

□南國の春に 一入の賑ひを添へて居る今でこそ臺灣と云つても左程異つた感がせぬが、我領土となつた頃はそれは風俗も土地の狀景も異つたものであつた、それに就き其當時より長く臺灣に住でゐる人の語る所を聞くに内地人が初めて渡つた明治三十年頃は丁度軍政から民政に移つた當時であつたから、一時の體裁なども

□舊淸國時代 の儘で、雇入れなども内地婦人を使用する事が出來ず、日本人の男を使ふか土人の女を使役したものだ。それに日用品も現今の樣に充分でなく買物をするにも不便な有樣又其頃は土匪が横行して支那人の家などを襲ので中々物騷であつた。其時分眼に觸れた物では異樣な音をたてる人力車で其後には綺麗な轎が雇はれてあるなども、珍らしく、其外土人の

□上流婦人は 支那風の纏足で往來するものが多かつたが現今は深窓に垂れ込めて居るにも似ず、嘸な交際がお上手であつた。其頃から臺灣の婦人は下流の勞働者の妻などから斷拾ひの女に至るまで、服は木綿であるが、始終淸潔を旨として髮は一絲亂れぬやうに梳つて居る點は内地婦人も耻しい位ゐであつた、それから手先が器用で、現今では造花、刺繡に巧な人もあり、それに此頃では職業學校や公學校の卒業生が出る樣になつて

□土人の婦人 にも職業と云ふ事を考へる樣になつて來た。現に臺北の病院邊りではさう云ふ婦人達が見習ひ修業に働いて居て、卒業すると産婆を開業して一人立ちをして居るものもあり、從つて衞生思想も發達して居る、佛教に這入る人、基督教を信仰する人などさまざまあるが兎に角年々内地化しつゝあるのは事實である（臺北通信）

◎櫻樹に包まれた大連

本年は二百數十本開く大連公園では昨年來大分櫻も多數植付られ大きな木も茂いたので滿洲開闢以來の花が見られようといふ評判である向陽門からの道筋、南花園の入口、西廣場などのを合せて約二百五六十本が美事に開くであらうその他にも二三年を經過したら素晴らしいものがある東公園の滿洲牧場側には四千本の三四年生が假植してあるし西廣亭裏手にも、記念植樹を同じく假り植ゑしてあるし茲四五年も經過したなら市を圍んでゐる山々の麓に移植されし樂しいお花見が出來るであらう逢阪町前の貯水池などは洋々とした水を湛へて一入の眺めであらう出來ることなら虎公園を中斷する流れ川が欲しい常に水の流れる亦一番早く芽を吹くのは白楊でモウ鷄の蹴爪程に伸びてゐるから今月中には綠の葉になつて淸新の氣が漲るであらう（大連）

◎匪賊二十餘名

▲黄河の民船を襲ふ 近時濟南附近一帶殊に黄河沿岸は土匪の横行最も甚だしく數日前東阿縣（濟南の南二十餘哩）管內富岸にて河南名より來れる一民船は洛口より雜貨入れの歸途暴風に遭ひ前記富岸に避難したるに同夜匪賊二十餘名は武器を携へて船內に侵入し船主劉某元を縛して頭部に負傷せしめ銀三百餘元衣類十數點を强奪し逃走せしが未だ縛に就かずと（濟南）

◎王陵を發見す

慶北慶州郡内東面道只里なる新羅中世、聖德王陵及び孝昭王陵に接近せる九政里駐在所より約一町を距る民家の後方より王陵の如きものを發見せり陵は既に何物かに發掘されて内部の屍を現し其の空虛は附近農民の物置に使用されつゝあり王陵の周圍は大抵百歩以上なるに本陵は六十歩に足らず而も護石に彫刻せる十二支の細やかなる點より考察すれば寧ろ王者の陵とも見做されず左りとも民間貴族の墓にもあらず何れ由緒ある王子か或は愛妃の陵ならんと

◎面書記の橫領罪

京畿道楊州郡西南面廣石里張夢杓（六二）は大正二年三月頃より本年三月迄居面の面書記を奉職し記帳及び税金の取立等に從事中昨年一月より本年二月迄に里民より徵集したる地税其他百八十八圓餘を横領して消費したる爲め京城地方法院にて懲役一年（二年執行猶豫）となりたり

◎美貌に迷うて

京畿道高陽郡延禧面滄川里居金三奉（三一）は同面老姑山里の酒幕李姓女が界隈稀なる美貌なるに懸想し二月二十七日夜同女方に赴き酒を飮みたる上四邊に人なきを幸ひ怪しからぬ振舞に及ばんとせしも同女は機轉を利かしたる爲め危ふく難を免れ其筋に告訴したるより三奉は京城地方法院に於て强姦未遂として懲役一年の御灸

◎黄楊樹を盗む

京畿道高陽郡恩坪面錄磻里曹長山（三）は窃盗前科一犯の曲者なるが四月十六日同郡西山里附近の民有林に立入り黄楊樹を盗伐し京城に持ち來り南大門通りを通行中本町署の巡査に取押へらる

移民生活（四） 暢びりした氣分 家族的の小學校

蠶島の春は雲雀の聲に眼覺めつゝある暖かい一日、勸業模範場道の移民村をつゝき、蠶島公立小學校に寄つて見た。學校は小さい瓦葺の溫突建築で周圍は皆果樹園である。每年

◆四月下旬の花の 頃には、此風流な校舍も花に埋もれ、生徒はまた風光る畑に鍬をもつ。學校の果樹園は校庭の前に一反歩ばかりの梨畑があるが、去年から四五十顆の實がなり出したので追々には梨のお金で遊戲道具を購ふ計畫だ相な。校庭にはまた三四年前京城日報から寄贈した 吉野櫻が大樹となつて今年も二丈あまりの枝々に はおびたゞしい蕾がふくらむで居る。それに可愛らしいのは校庭の柳に鵲の夫婦が巢をくつて、殆んど手の屆くあたりから每日生徒と一緒に遊んで居る。生徒も亦一向鳥のお友達を害しようとも爲ない。校長の大村先生は、此の移民村小學校の創設された明治四十五年から蠶島に住つて、自分にも

◆亦少々の果樹園 を經營して居るが、東拓の方でも懇意先生とかお醫者とか僧侶の人には出來得るだけの便宜を計つて歡迎して居る。生徒の數は卅二人、男十八人女十四人で、父兄の職業別は有體に農業が廿八名を占めて居る。それに校舍は狹い單級の教室だけれども、生徒の體軀が健康なのと現に此處の尋常科を卒業した生徒の中、京城の學校に入學して始終優等を占めた者が多いのはこれも大村校長のお自慢の一つ『花が咲いたらおいでなさい朝鮮視察に來た大臣さんも貴衆院議員さんも新日本の植民地として隨分見物に寄られます……』とは校長のはなし。見るからに睦じ相な（部落に秀才の出來るのも此の學校のお自慢である）

◆愉快相な暢びり した小學校である。現今東拓で補助し經營しつゝある此の程の小學校は全道七十五校の多きに上り、他に兒童保護預所の設備が十一箇所ある。普通移民の移住した地方には就學兒童十八人以上ある場合は何時にても學校組合を設立し小學校が建られるが（市部に於ても出來得る限り補助することに努めて居る）居る。併し兒童が一年生とか二年生で一二里の通學に堪へられぬ者若くは學校の無き地方では、右の保護預所に依賴して極めて廉い經費により教育する事が能きる。其他鐵道の沿線では小學生の通學には鐵道乘車賃は無賃である。斯かる次第で現今では如何なる片田舍に移住しても最早

◆就學兒童の教育 に困るやうな憂は無いそれにまたお醫者さんなら東拓から囑託の公醫が並びに開業醫あり、お寺はまた全道到る處に設けられて特に移民村巡りの說教師もある。また飮料水に乏しい所は東拓から井戸を掘る。兎に角新日本の移民生活には內地で想像するやうな不便はない（終り）〔凡〕

◎大分視察團歡迎宴

京城に於る大分縣人五十餘名は十七日入京せる大分縣朝鮮視察團一行廿六名を十八日午後七時京城ホテルに招き尙陪賓として金谷府尹原田會頭一の瀬驛長小幡朝新支社長、阿部本社長等をも招待し歡迎宴を催したるが軈て宴に移るや和田副會頭の挨拶に次で田中大分縣內務部長の謝辭あり終つて原田會頭の希望古城梅溪氏の京城懷舊談阿部本社長の朝鮮開發に就て等の演說あり歡を盡して十時散會したり

◎高野山の大法會

新町高野山出張所に於ては十九日より二十一日まで高祖弘法大師の入定忌たる正御影供大法會を嚴修し各開教師數名の殿戴あり二十一日は參拜者一般への接待を爲す由

購買入札
一、玄米二百石 白米三百五十石
一、大豆八百十石
右各號每ニ購買ス詳細ハ大正五年四月十九日以後ノ本府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

緊急廣告
廿日より大賣出し開始致すべき筈の處生憎春季淸潔法當日に相成候間廿一日よりご改め申候
ますや呉服店

京日案内
普通 番外

普通
◎和服裁縫手傳入用 京城本町一丁目五一ノ二 山守 226
◎賃金高職工及從弟至急募集希望者は本人來談あれ 京城本町二 ◎村木時計舖金工部 電話長四七一番 208
◎看護婦至急募集 京城櫻井町二の一八九 電話二九一二 朝鮮看護婦會 221
◎明治町フランス教會正門前 ▲ほねつぎ ▲うちみくじき治療 電話二五九五番 荒川仁壽堂 33
店舖讓受營業の種類を問はず至急讓受たし極秘密に御相談申候 明治町口入業萬年社 電話一八四四 44
有給外交員採用月給二十圓以上希望者履歷書携帶本人來談 京城花園町一二 帝國圖書普及會支部 227
◎代診一名至急募集す志望者は來院あれ但し經驗ある者 仁川佐藤病院 230
ピストル モーゼル十連發ブローニング八連發最新式彈丸附賣却す御入用の方は龍山電話一三五番へ 235
造林用種苗の供給及林業上の設計並に賃行等一切の依賴に應ず照會要返信料 京城府桂洞 林業社 232
種苗の撰擇及造林の設計を過らば多大の損失を招く事業の安全を計る相談には 京城府桂洞 林業社 233
◎講談雜誌類古本◎雜誌は特に高價に申受候 京城本町二 電二五二七 ウツボヤ書店 236

番外
▼鑛物各種分析 京城太平町二の一二五 坂本分析所 225
鑛物分析 正確迅速 太平町二の二三〇 朝陽分析所 222
▼日鮮文對照 朝鮮鑛業令 京城北米倉町一四一 驛前 振替京城三四七九番 註入定價六十錢郵四錢 靑邱書房 217
賣地及一時貸地 南大門通漢城銀行隣三十坪餘 京城貴金町二丁目電話一〇一五番 喜多金光堂 98
年金恩給退隱料で金融希望者へ其他諸公債證券に對し低利便に數年分即時立替 京城永樂町一丁目 商品陳列館表門前 江州屋本店 貸金 48
◎ほねつぎ（うちみくじき）等 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 15
女醫 京龍間に被雇たし 姓名在社 231

守田寶丹 起死回生
花見 遊山や 遠足旅行…… 觀劇其他の外出にも 氣分惡き時又は ソレと言ふ急病にも 必ず 守田寶丹を服用せられよ
品質本位の 應急用なる 懷中良藥は 眞にこれ 守田寶丹 唯一つ
（主効）中暑、酒醉、吐瀉、霍亂、氣付、毒消、頭痛、眩暈、腹痛、食傷、水傷、下痢、船車之酔、過飮過食
定價 金拾錢、廿錢、卅錢、五十錢 金壹圓以上は優美なる寶丹匙を添ふ
○○各藥店にて販賣す ○○ニセモノあり注意 二十七號地に御注意
本舖 寶丹 東京下谷池ノ端仲町 守田治兵衛 振替東京二九八五番

▲黒龍江新金鑛 黒龍江庫瑪……内に租稅測量專賣等の事より官民の衝突を惹き起す事殆んど寧日なき有なりと

◎盗んで持餘す 愛知縣知多郡上野村生れ當時龍山元町二丁目某……屋に入質せんとして怪しまれ犯罪の發覺を恐れ直ちに元の南大門驛に……

千生瓢 (187)

須藤南翠作　筒井年峰畫

小牧山（五）

翌十五日の朝であつた。清洲城の大手の門扉を八文字に開かせて、中將信雄、参議家康、互ひに旗下ばかりを引率して、兩將馬を駢べて立ち出でた。先導は榊原小平太康政、馬脇には本多作左衛門尉重次引つ副うて、静かに蹄を運ばせる。是れは小牧山の陣地を検分をして、早朝より出馬に及んだのであつた。

霞を隔てゝ、さし昇る朝暾は、春日井、羽黒二郷の平原を彩つて、

闌ならんとする春の野色を濃かにする。漸く駒に飛ぶよとすれば、また立ち迷ふ蝶の羽風のいと輕く、蹄に駭き立つ告天子の顔縄高く雲に沖るのも、流石に興を催さぬではない。高頭の耕圃には、綠の風に起き伏しする麥の浪の際涯なく、其間に金泥の霞を引くが如き、鬱金の花の菜種圃は、今を盛りと咲き亂れる。蹊ら蹊を覗く緋桃には、近く仙境の思ひを惹き、一叢松の綠に消えぬ山櫻は、神樂の音に散るかとぞ危まれる。繁陰の鶯、長者が簇の知更鳥など、右に左に耳にしながら、手綱かい繰り進む程に、遥かの後邊に當つて夥しき人馬の嬉の立ち騰るのを見て、自から足掻を止めさせた。

徳川が旗下より三蔵騎に鞭を揚げて、驅け出した若武者があつた。其行裝の凛々しさに、彼は誰かと人々目を擧げて之を見るに、形原の松平又七郎家信であつた。

家信一里餘り驅けさせて、急度屈候したる後、又立ち歸つて復命した。

『彼なる一隊の人馬に、先は桑名へ遣はされまいた、御先手の大將、大須賀五郎左衛門尉康高、松平主殿助家忠の、引き返し参るものおざりまする』

『何、五郎左、主殿が引返したとあろか。さらば怪しうない。いざ打て』

大須賀、松平は幾程もなく馳せ著けて、途中ながら見参に入り、先づ大須賀が口を切つて、

『桑名表の御固め仰せ被り、彼處に出張仕つる處に、犬山の城落ちて池田父子が乗つ取つたと承はり、さては御軍は近きたるぞ。猶豫して時に後れなとて、一部川より引返し申しておざりまする』

『此方に於て御手合ある上は、松ヶ島の圍も自から解け、上方勢は、美濃に馳せ聚まる事と存じて、彼處は北畠殿御人數に任せ、立ち戻つた次第御聽き届け下させられい』と、家忠も言ひ足した。

家康は莞爾と笑つて、

『五郎左といひ、主殿といひ、老功の古武者程あつて、能く致いた。歸城の後は、使者を以て呼び返さうと存じた處ぢや』

『はツ。去る思し召しと符合致いた事、何より仕合おざりまする。今日の御出城、陣所の御検分ともおざりまするか』

康高は案外の首尾を悦んで、主將の意を伺つた。

『さればぢや。好い陣所のあると申すで、検分の上、要害を構へようと存ずる』

『さらば、我等は御先手の役目、是れより、御先を勤め申しまする。露入の古兵、地の理には熟したり、如何なる謀計を設けんも知れ難きに餘りの御手薄おざりまする』と、家忠は言ひ捨てゝ、非常を驅け抜けた。

先づ小牧山の艮に當つて、小牧原に在る叢林中に、假に陣所を取り定め、さて榊原康政が東道に依つて駒を小牧山に進ませた。

こゝは、樂田よりの道と、羽黒よりの道との交叉して、西春日井に通じ、東は多治見、瀬戸、岡崎に出る三道に分れ、南は那古野に至り、西は三里を經て清洲に達す街道の樞軸を占め、地勢の究竟なること、此の右に出づる地とてはない。且つ平原中の獨立山にして、頂上はさまで高からねども、此より展望する時は、十里二十里の敵の動作は何一つ隠れるものはなく、正しく必勝を制すべき地形を占めてゐる。家康は山巓に登つて、彼方此方を見て居るうちに程遠からぬ林樾の彼方に當つて、俄かに猛火の炎々として立ち騰るのを望んだ。

『うむ、勝入の焼き働らきぢやな。心憎き入道ではある』と、莞爾として見渡すに、忽ち二箇所、三箇所、五六箇所、彼處も此處も燒き立てられて、家財雜具を引つ擔ぎ、難を避る農民等の、野麓地を走るのを見た

日報俳壇　蝶子郎選

春淺し

春淺き湯に思ひ出や古き紙　青扇
春淺く羽織著慣れぬ漁師哉　笠山

春寒

春寒し人住まぬ島の落標　昌山
石塔に笛低く筆や春寒し　同
春寒や行李の底に秘む位牌　青眉
灯に遠く餘寒の土間に編綱子　山民
驛前の大路人稀に春寒し　麥耐
杉の影揺れ居る壁や春寒し　容堂
群峰の一峰雪の餘寒かな　麗水子
春寒き渦遠く見て漕ぎにけり　北星

冴返る

寺に來て増す悲みに冴返る　青扇
山の町の裏戸出て谷冴返る　麗水子

春曉

春曉の火を運ぶ松の廊下哉　菊坡
春曉の戸に挾まれし郵書哉　同
灯今消えて春曉の車窓かな　山民
春曉を我のみに出す渡舟哉　同
春曉や湯布冷たさも夢の中　合歡女

東京　其角堂機一宗匠撰
九十會第四期撰句

立登る烟も春に發す昆の風　草人
春風や郡に入あり斧の音　蛟人
霞より奥に二段三段踏みけり　笑
高山の夫婦して畑打けり新世帶　人
呼鵲しに軍話や畑打　笑
我庭や霧朝なく來る　燕
蟲る打な雛霧の盃音哉　笑
長命は氣易きにあり揚の宿　々
牛臭き風の吹くなり梶の里　若
佳調十印
偽な梦く部門の壁や春の風　保
分ヒる霞の奥の札所かな　一局
夕霞潮來川烏は灯りけり　不同
打上た畑や夕餉の酒の未　保
霞や雨の一と日なみだれ鶏　新
三光十二印
人
草の戸の春を飾るや揚の花　新草
地
春風や江湖の寺の五色旗　和山
天
傷の よく音つるゝ閑居哉　新草
加
送電鉛に釘する鋲かな　一

讀者の領分

暑からず寒からず今や運動の好季節貴社は吾な讀者の爲何にか壯快な企てをして下さいませいか（運動家總代）▲何人か市民大運動會の主張者があつたが僕も大贊成だ又た商業會議所の發起では何うです（明治町の住人）▲商店の看板は一の市街美であるから成るべく美術的にするのが當り前だのに市中を通行するに大分見苦しいのや馬鹿氣たのや無くてもがなのものが多い何とか一と工風してほしいものだ（小美術家）▲京城の琵琶界には大分イザコザがあつたが此頃は餘り耳にせぬ納まつたのか其れとも隠して居るのか（會員の女中）▲此の頃は大分何々畫家展覧會とか何とか作家講會とか云ふものが尠なくなつた様だが稼ぎに來る者も少なくなつたと見える▲實際彼れには閉口して居た（高等官）▲私の左隣りでは近頃謡を始められたが右隣では又た浄瑠璃を始められたので私は其中で大困り小供などは夜中度々目を覺まして困ります私は商人お隣りはお役人と銀行の方何とかなりますまいか（大和町二丁目の女主人）▲十七日の夜遅く旭町一丁目で醉つ拂つて車から落ちた藝妓があつた何と云ふ名だらう（夜泣き飴屋）

新刊紹介

◉菓子か玩具か　子供へのお土産には菓子か玩具にきまつてゐたが、近頃東京市東京社から發行された『日本幼年』は見て美しく讀んで面白いところから子供達の大歡迎を受け居れり。菓子は食べるとなくなり、玩具はすぐに壞れてしまふけれど『日本幼年』は紙質良好にして製本堅牢なれば、子供へのお土産には此の上なし。各地各書店にても昨今非常なる賣行きなりと

▲臺灣教育（一六七）殖民地の教育は多少母國と其の趣を異にするが本誌は同地に於ける學術技藝及び精神方面の有益なる記事を載せたり（二十錢臺灣總督府民政部學務部内其會）

▲洪水以後　日本軍人對神の崩壊か原輝山、明治大正政變秘史長島隆二、經濟同盟と日本精神文之助、誰か千里に使する其他（十錢東京市神田區裏神保町一元社）

▲英和對譯秘密のカイゼル　多譯は不知不識の間に英語に熟達する最良方法なり然れども中學程度の學生にありては動もすれば原語の字句に拘泥して眞意の了解を誤り或は實際的方面に活用し得ず本書の如きは蓋し此の缺陥を補ひ得て遺憾なきものと云ふべし（四十錢東京市芝區佐久間町一の一旭商會社）

▲警察新聞（三六四）五錢東京市芝區愛宕町二丁目一四其社

十八日後場　大阪株式特電

共同新株　六六、〇〇
鐘淵紡績　一六一、二〇
同上新株　一三八、〇〇
東洋紡績　一〇五、〇〇

十八日後場　下關期米特電

四月限　二一九六〇　二一九七〇
五月限　二一九七〇　二一九八〇
六月限　二一九五〇　二一九六〇

十四圓二十七錢止め二十八錢

工務傳習生募集

右工務ニ從事セシムル爲メ約二十名募集ス
其業務ハ電信電話ノ工事ニ從事セシム
當間内地人日額三十錢ヲ給與ス養成期間約七ケ月
十七歳以上二十五歳以下ノ者ヲ採用ス
學力ハ高等小學校卒業程度
志願者ハ本月二十五日迄ニ各郵便局ニ申出ツベシ
受驗心得等ハ各郵便局ニ就キ承知スベシ
大正四年四月　朝鮮總督府遞信局

廣告

今般第九師團凱旋ニ際シ第十九師團歡迎會ヲ開催致度候條御贊同ノ諸彥ハ左記ニ依リ御承知ノ上會費ヲ添へ至急御申込被下度候

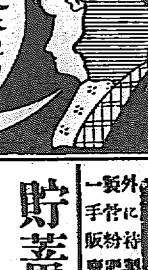
一、日時　四月二十三日午後一時
一、會場　龍山鐵道公園
一、會費　金壹圓
一、申込所　京城府内務係及京城府龍山出張所

大正五年四月十四日
第九師團凱旋第十九師團歡迎會發起人
原田金之助　谷充　鈴木雄三

新刊書御案内

書名	著者	定價
中山大納言	琵琶歌作	九〇
世界的野心家カイゼル	グレペイン博士	九〇
カイゼルの裏面		一、三〇
死後は如何		一、三〇
紀行文集旅かゝみ		五〇
故郷 他	郡虚川	三〇
十人十色名物男	大町桂月	一、二〇
農閑出鱈目草		一、〇〇
標註白樂天詩集	簡野道明	一、〇〇
和歌の作りやう	歌道研究會	六〇
樗牛全集想華及小品	高山博士	一、五〇
東京市内先儒墓田錄		五〇
禪と膽力養成	佛心道人	八〇
立身姓名と人の運	北原秋果	五〇
國語寶鑑	小田省吾	七〇
農村生活三十年	佐久節	四五
佛教心理の研究		一、二〇
英文和譯の基礎		六五
民政史稿	岩田	一、五〇
衛生法規類集 全		八〇
警察字典	山本正一	九〇
貸付名簿と最後の手段	花井直	六〇
廣告カットと廣告文句	高木正己	一、三〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六　振替京城二一五七三番



大阪市御堂筋北久太郎町　井筒屋田商店　履物問屋　大路本店
電話東百九十番　振替大阪四一八一八
御一報次第相場表御送付可仕
大阪履物新進會ト每月一回定期御送付ノ特約可致候

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版　最も熟練せる技術を以て最も鮮明に最も速かに御注文に應ず　京城日報社寫眞製版部

何人でも一度御試飲あれば必ず……一生涯御常用になるは

美味滋養　蜂印香竄葡萄酒　の生命と眞價なり—！

凡そ常用者の忘るべからざる欣快は
■毎朝の一杯は……精神を爽にし元氣を増す
■毎晩の一杯は……疲勞を慰め睡眠を助く
斯くしてますく健康の人となる!!

東京日本橋本町　近藤利兵衛

りん病　ばい毒　專門藥房

吾が社は天下名の有る、りん病ばい毒藥ならば如何なる世界の果にて製造して居る藥でも悉く蒐集して常に實際の効力を試驗して居ります。而して自家製藥の改良に努めて居ります。吾が社の藥が常に世界唯一無二の良藥であるとの評判を得て居りますのは、只世界の有りと有らゆる淋病黴毒藥の長所を取つて藥味及び製法に間斷無く改良を加へて行くからであります。吾が社は他の如何なる淋病、梅毒薬とでも効力に對する競爭試驗に應じます。詳細は三月四日及九日の京城日報御覧、近頃各地に偽ドラッグ續出せり御注意を乞ふ●りん病藥壹週間分普通壹圓貳拾錢特製參圓●照會は返信券を要す

京城南大門外停車場通り
ドラッグ商會鮮滿本部
電話　二五六七番　振替京城四六七番
本舗　大阪　合資會社　ドラッグ商會

イゲダ小兒病内科醫院
池田季雄
京城三越吳服店前（入る旭町四丁目）
電話（醫院）一二三四番　（自宅）八八〇番

栗樹、山林、庭樹、盆栽、苗木販賣　平安攻玉園
弊園は多年の經驗を以て育成したる各種苗木數百萬本あり其の種類の正確發育の良なる事他に比類なかるべし
外に牛田式噴霧器、袋製造器、剪定鋏、肥料、害蟲驅除藥品等、西鮮に於ける一手販賣をなせり、御希望の方に攻玉園の營業一覽を進呈す
朝鮮平壤停車場通
電話二六四番　振替口座京城一四五五

貯蓄預金
元金百圓ニ付日歩壹錢三厘
金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黄金町　電話四二〇番五八〇番　振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所
龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

特許機械製　高等ほまれ味噌
特約賣捌所　京城黄金町　三巳商會　電話三八番
京城南大門外　大三商會　電話三一九番

日本郵船仁川出帆
三河丸　大連、太沽、牛莊行　四月廿二日　正午出帆
相模丸　五月　五日　正午出帆
砂丸　五月十一日　正午出帆
仁川港町一丁目　堀回漕部

大阪商船仁川出帆
○外航所要時間は五分乃至十分間遲れ以て延期する事あるべし
群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
○油頭丸　四月廿四日　午後五時
須磨丸　四月二十日　出帆
×天智丸
○木浦、釜山、厳原郷の浦長崎行
×○信濃川丸　四月廿三日　後二時
信濃川丸　五月十一日　後二時出
×○鎮南浦大連行
○信濃川丸　四月　日　後二時
×信濃川丸　五月六日　後二時出
○大連直行
△潮州丸　四月十九日　正午出帆
×臨州丸　四月廿八日
○群山、釜山、浦濱行
△潮州丸　四月廿四日
臨州丸　五月五日　午後出帆
×○清津、元山、西湖津ニ寄港（元山出帆）
△印ハ城津浦潮行　四月廿九日
宮島丸　五月五日　午後二時出帆
平安丸
▲上海、基隆、打狗行（大連出帆）
○城津丸　四月廿三日　前十時
湖北丸　五月四日　前十時出
御注意
○印は大連及淸津航路と聯絡
○印は一時間前貨物積込
○×印は一等客御斷り
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店
京城切符發賣所　電話一三二〇番　西國通運會社支店

尼崎汽船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大正丸　四月廿四日　後四時出帆
大有丸　四月廿四日　後四時出帆
神代丸　四月二十日　後四時出帆
安龍丸　月　日　後四時出帆
君が代丸　月　日　後四時出帆
仁川　北部　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
○元山、清津、浦鹽行
立神丸　四月　日後五時出帆
○門司、神戸、大阪行
立神丸　月　日後十時出帆
小倉丸　月　日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行
小倉丸　四月廿六日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　月　日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸　四月　日後六時出帆
○世須奈、嚴原、壹岐、博多行
天貝丸　毎月二日九日十六日廿三日　午後十時出帆
釜山　大池回漕部

朝鮮郵船
本社　京城南大門通（電話一九五三番二三二番）
支店、出張所、代理店、取扱店

全羅丸　五月二日　釜山發
京畿丸　四月廿一日
黃海丸　四月廿六日
咸鏡丸　五月六日
釜山より各港寄港
慶尚丸　四月廿三日
昌平丸　四月廿一日
鏡城丸　四月廿七日　元山發
元山より各港由雄基行
平壤丸　四月廿八日
忠淸丸　四月廿一日　元山發
永興丸　毎月廿八回　元山發
北久保、五里洞行
盛德丸　四月廿五日　釜山發
襄陽丸　毎日　（釜山）（浦項）發
江陵丸
三浦丸　四月廿三日　釜山發
長生浦、方魚津寄港
統營丸　釜山發
濟州丸
巨濟丸
漢城丸
三浦丸
興天丸　三日目毎　木浦發
順天丸
慶興丸　四月廿二日　木浦發
公州丸　四月廿四日　木浦發
公州丸　四月十九日　木浦發
宗信丸　四月十九日　仁川發
江原丸　四月廿八日　仁川發
麗水丸　四月廿一日　仁川發
晋州丸　五月一日　仁川發
錦江丸　毎日午前　仁川發
南陽丸
平安丸　四月廿四日　群山發
　四月廿九日　若松發

阿波共同汽船仁川出帆
第一共同丸　芝罘、大連行
四月十九日後二時
四月廿一日正午出帆
第一愛國丸　城津、淸津、浦鹽行（元山出帆）
月　日　後九時
第三西湖丸　西湖津沿岸各港を經て雄基行
月　日　前八時出帆
（元山出帆）
阿波國共同汽船株式會社
本町二丁目　電話一〇八番
仁川代理店　山下回漕部
元山代理店　田口回漕部
南大門電話（二六八、二〇一、七）
京城取扱店　岡村運送店

十八日仁川米況
後場寄付　止め
四月限
五月限
六月限